

忠岡町
福祉に関するアンケート調査
集計結果報告書

令和 5 年 10 月

忠岡町

目 次

第 1 編 調査の概要	1
第 2 編 集計結果	2
第 1 章 障がい者用調査	2
第 1 節 属性	2
第 2 節 お持ちの手帳や診断などについて	6
第 3 節 日常生活の状況について	11
第 4 節 日中活動や仕事について	17
第 5 節 外出について	21
第 6 節 障がい福祉サービスの利用について	23
第 7 節 相談や情報について	31
第 8 節 社会への啓発について	33
第 9 節 地域での生活について	34
第 2 章 子ども用調査	37
第 1 節 属性	37
第 2 節 お子さんの障がい等の状況について	39
第 3 節 お子さんの介助・支援の状況について	42
第 4 節 お子さんの日常生活の状況について	48
第 5 節 福祉サービスや情報・相談について	50
第 6 節 地域での暮らしについて	53
第 3 編 自由意見	56

第 1 編 調査の概要

1 調査の概要

忠岡町では、令和5年度に、新しい障がい福祉計画（障がい児福祉計画を含む）を策定します。

福祉に関するアンケート調査は、市内の障がい者と、発達・発育に不安のある子どもを対象に、生活状況や施策ニーズをお聞きし、これらの計画の策定にあたっての基礎資料とするために実施しました。

2 調査期間

令和5年8月から9月

3 調査方法と配布・回収数

調査は、以下の2種の調査票で郵送により実施しました。配布・回収数は表のとおりです。

調査票の種類	対象	配布数	回収数	回収率
障がい者用調査	19歳以上の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者及び精神通院自立支援医療の受給者)	1,040	445	42.8%
子ども用調査	18歳以下の身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の所持者及び障害児通所支援利用者	113	40	35.4%

4 留意点

- 設問のなかには前問に答えた人のみが答える「限定設問」があり、表中の「合計」が全体より少なくなっています。
- 設問には1つのみ答えるものと複数回答のものがあり、複数回答の設問では、表記の割合の合計は100%を超えます。
- 割合は選択肢ごとに小数第1位以下を四捨五入して整数表記しているため、その割合の合計は100%にならないところがあります。

5 集計表の見方の例

問 23 あなたは、現在利用している障がい福祉サービスについて、どの程度満足していますか。(○は1つ)

回答者 445 人の所持手帳別の内訳です。障がいの内容により、福祉サービスへのニーズが変わることから、区分して集計しています。

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても満足している	38	9%	20	7%	6	15%	2	3%	10	17%
2. おおむね満足している	119	27%	56	20%	10	26%	25	38%	24	41%
3. やや不満である	24	5%	13	5%	3	8%	7	11%	1	2%
4. とても不満である	7	2%	3	1%	2	5%	2	3%	0	0%
5. サービスを利用していない	195	44%	140	51%	11	28%	23	35%	18	31%
無回答	62	14%	42	15%	7	18%	6	9%	6	10%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

1つを答える質問のため、無回答者を含め、総計は 445 人、割合は 100%になります。ただし、四捨五入の関係で、割合を縦に足すと、99%や 101%になっている表や図（グラフ）があります。

問 23-1 不満と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 通いやすい場所に事業所がない	3	10%	1	6%	0	0%	2	22%	0	0%
2. 希望する曜日や時間に利用できない	5	16%	3	19%	1	20%	1	11%	0	0%
3. 本人や家族の意向を尊重してもらえない	6	19%	5	31%	0	0%	1	11%	0	0%
4. 職員の知識や経験が不足している	5	16%	4	25%	1	20%	0	0%	0	0%
5. プライバシーの配慮に欠ける	2	6%	1	6%	0	0%	1	11%	0	0%
6. 利用者負担が高い	10	32%	7	44%	1	20%	2	22%	0	0%
7. 引き受けてくれる事業所が見つからない	2	6%	2	13%	0	0%	0	0%	0	0%
8. その他	4	13%	1	6%	1	20%	2	22%	0	0%
合計	31	100%	17	100%	1	100%	5	100%	0	100%

複数の選択肢に回答している人がいるので、割合の合計は 100%を超えます。

問 23-1 は、問 23 で「3. やや不満である。」または、「4. とても不満である。」と回答した 31 人だけが回答しています。

第2編 集計結果

障がい者用調査の集計結果は、以下のとおりです。

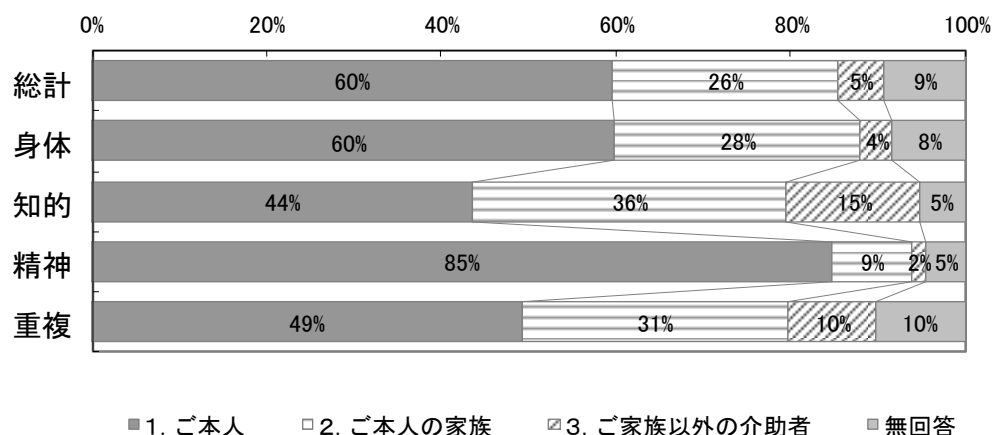
後述の問5・7・8の障害者手帳の種類等により、身体障がい者（274人）、知的障がい者（39人）、精神障がい者（65人）、複数の手帳を所持する重複障がい者（59人）、区分できない方（8人）に分け、障がい区分別クロス表を掲載します。

第1章 障がい者用調査

第1節 属性

問1 お答えいただくのは、どなたですか。（○は1つ）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ご本人 （調査票が郵送された宛名の方）	265	60%	164	60%	17	44%	55	85%	29	49%
2. ご本人の家族	115	26%	77	28%	14	36%	6	9%	18	31%
3. ご家族以外の介助者	23	5%	10	4%	6	15%	1	2%	6	10%
無回答	42	9%	23	8%	2	5%	3	5%	6	10%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



回答者は、全体では「ご本人」が60%となっており、知的障がい者や重複障がい者では、「ご本人の家族」および「ご家族以外の介助者」の回答が多くなっています。

問2 性別・年齢をお答えください。(○は1つ・数値を記入)

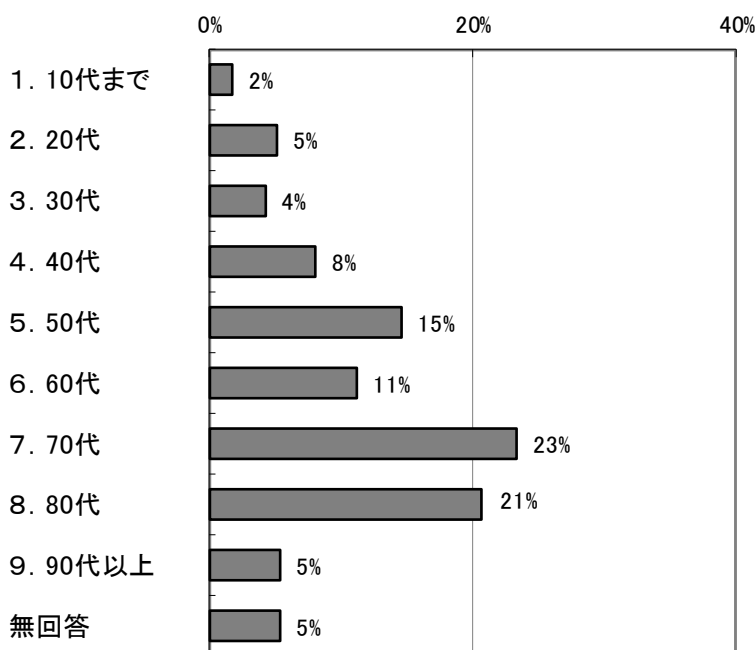
〔性別〕

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	210	47%	126	46%	21	54%	33	51%	30	51%
2. 女性	222	50%	147	54%	16	41%	30	46%	29	49%
3. 答えたくない	3	1%	0	0%	2	5%	1	2%	0	0%
無回答	10	2%	1	0%	0	0%	1	2%	0	0%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

性別は、男性と女性がおおむね半数ずつという状況です。

〔年齢〕

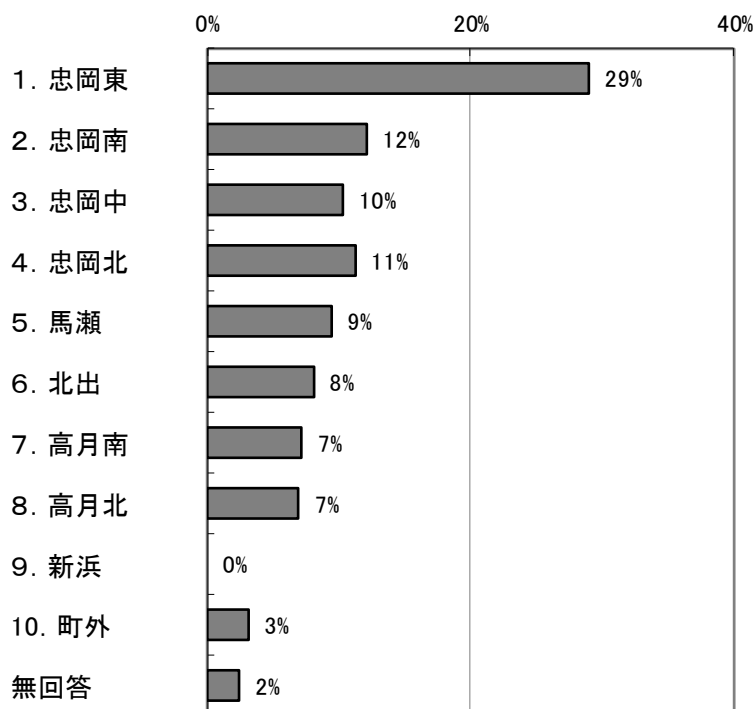
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 10代まで	8	2%	1	0%	5	13%	1	2%	1	2%
2. 20代	23	5%	2	1%	8	21%	10	15%	3	5%
3. 30代	19	4%	1	0%	7	18%	6	9%	5	8%
4. 40代	36	8%	10	4%	8	21%	9	14%	9	15%
5. 50代	65	15%	26	9%	5	13%	19	29%	15	25%
6. 60代	50	11%	28	10%	2	5%	11	17%	9	15%
7. 70代	104	23%	91	33%	1	3%	6	9%	6	10%
8. 80代	92	21%	83	30%	0	0%	0	0%	9	15%
9. 90代以上	24	5%	24	9%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	24	5%	8	3%	3	8%	3	5%	2	3%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



年齢は70代、80代が多くなっていますが、知的障がい者では20代と40代、精神障がい者では50代が最も多くなっています。

問3 あなたがお住まいの地域はどこですか。(〇は1つ)

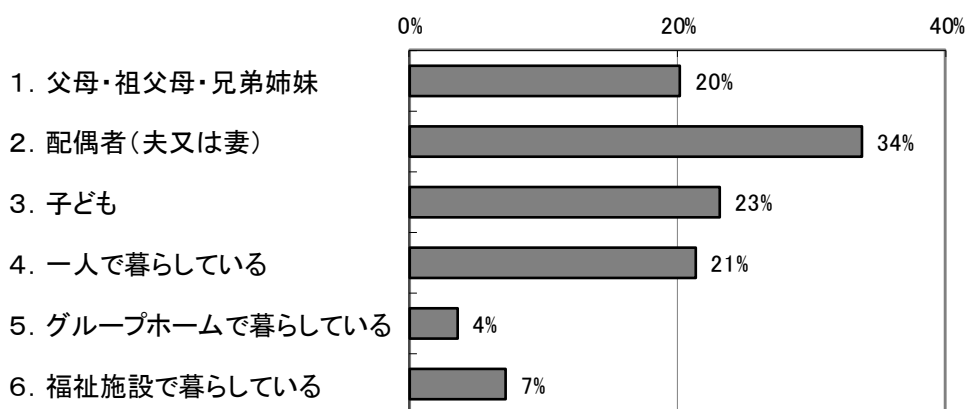
	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 忠岡東	129	29%	77	28%	7	18%	24	37%	21	36%
2. 忠岡南	54	12%	39	14%	6	15%	6	9%	3	5%
3. 忠岡中	46	10%	36	13%	1	3%	6	9%	3	5%
4. 忠岡北	50	11%	26	9%	13	33%	5	8%	6	10%
5. 馬瀬	42	9%	25	9%	3	8%	6	9%	8	14%
6. 北出	36	8%	22	8%	1	3%	7	11%	6	10%
7. 高月南	32	7%	24	9%	0	0%	6	9%	2	3%
8. 高月北	31	7%	22	8%	4	10%	1	2%	4	7%
9. 新浜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. 町外	14	3%	1	0%	3	8%	4	6%	6	10%
無回答	11	2%	2	1%	1	3%	0	0%	0	0%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



居住地区は、おおむね人口分布に近くなっています。
知的障がい者では、忠岡北が最も多くなっています。

問4 現在、一緒に暮らしている人は、どなたですか。(〇はいくつでも)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父母・祖父母・兄弟姉妹	90	20%	23	8%	25	64%	23	35%	19	32%
2. 配偶者(夫又は妻)	150	34%	120	44%	5	13%	11	17%	14	24%
3. 子ども	103	23%	84	31%	4	10%	7	11%	8	14%
4. 一人で暮らしている	95	21%	60	22%	2	5%	22	34%	11	19%
5. グループホームで暮らしている	16	4%	4	1%	4	10%	3	5%	5	8%
6. 福祉施設で暮らしている	32	7%	21	8%	3	8%	1	2%	7	12%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

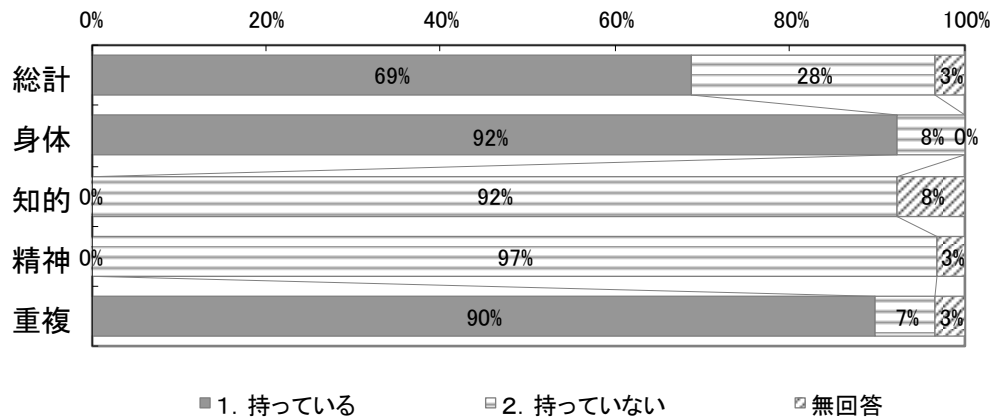


一緒に暮らしている人は、「配偶者(夫又は妻)」が34%など表のとおりです。一人暮らしは、身体障がい者、精神障がい者、重複障がい者でそれぞれ約2割にのびります。

第2節 お持ちの手帳や診断などについて

問5 あなたは身体障害者手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

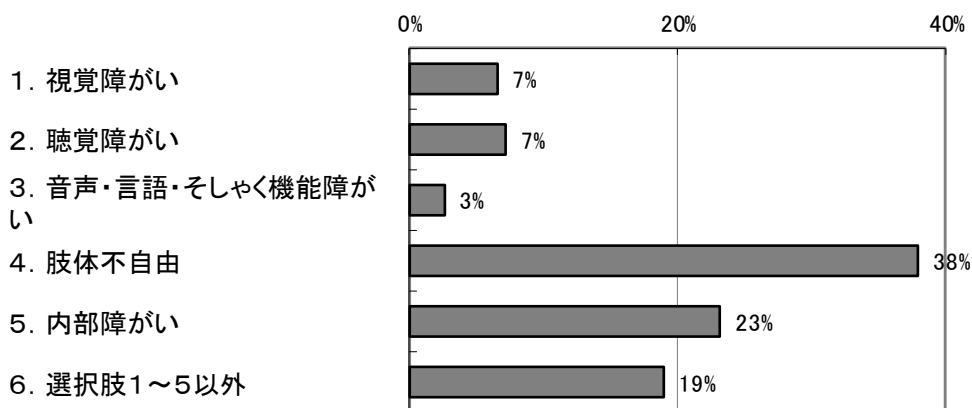
	総計		身体障害者		知的障害者		精神障害者		重複障害者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	306	69%	253	92%	0	0%	0	0%	53	90%
2. 持っていない	124	28%	21	8%	36	92%	63	97%	4	7%
無回答	15	3%	0	0%	3	8%	2	3%	2	3%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



身体障害者手帳は、69%が「持っている」と回答しています。

問6 身体障害者手帳をお持ちの場合、主な障がいをお答えください。(〇は1つだけ)

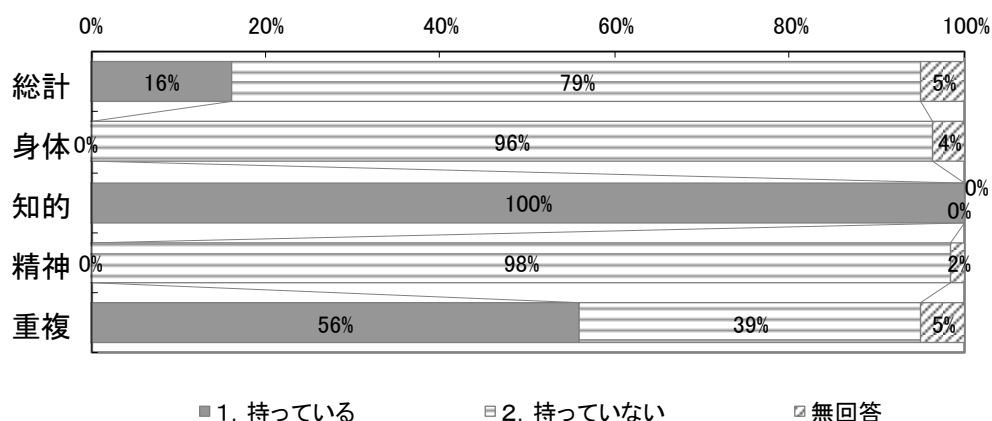
	総計		身体障害者		知的障害者		精神障害者		重複障害者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 視覚障がい	20	7%	17	7%	0	0%	0	0%	3	6%
2. 聴覚障がい	22	7%	22	9%	0	0%	0	0%	0	0%
3. 音声・言語・そしゃく機能障がい	8	3%	7	3%	0	0%	0	0%	1	2%
4. 肢体不自由	116	38%	104	41%	0	0%	0	0%	12	23%
5. 内部障がい	71	23%	61	24%	0	0%	0	0%	10	19%
6. 選択肢1～5以外	58	19%	37	15%	0	0%	0	0%	20	38%
合計	306	100%	253	100%	0	100%	0	100%	53	100%



身体障がいの主な部位は、「肢体不自由」が38%で最も多く、次いで「内部障がい」が23%です。

問7 あなたは療育手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

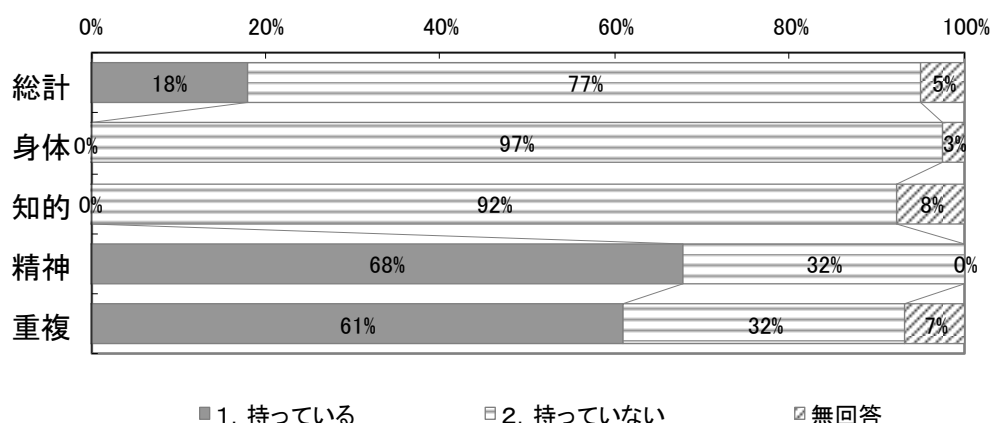
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	72	16%	0	0%	39	100%	0	0%	33	56%
2. 持っていない	351	79%	264	96%	0	0%	64	98%	23	39%
無回答	22	5%	10	4%	0	0%	1	2%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



療育手帳は、
16%が「持っている」と回答しています。

問8 あなたは精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(〇は1つ)

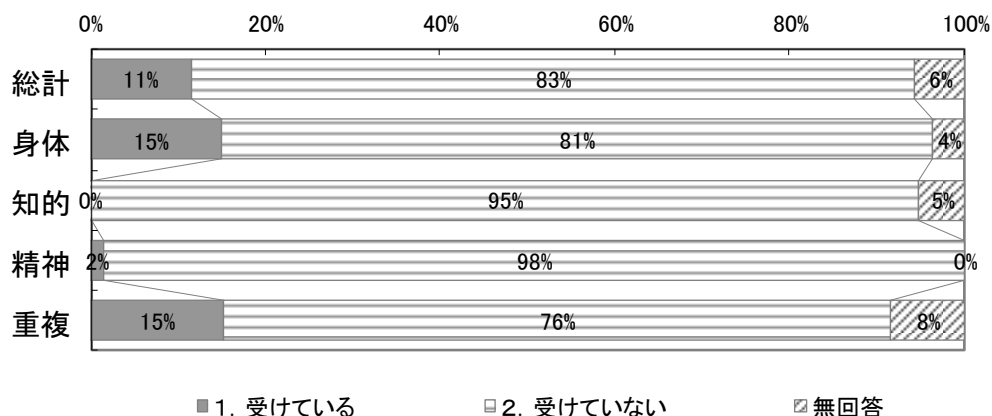
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	80	18%	0	0%	0	0%	44	68%	36	61%
2. 持っていない	343	77%	267	97%	36	92%	21	32%	19	32%
無回答	22	5%	7	3%	3	8%	0	0%	4	7%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



精神障害者保健福祉手帳は、
18%が「持っている」と回答しています。

問9 あなたは難病（特定疾患）の認定を受けていますか。（○は1つ）

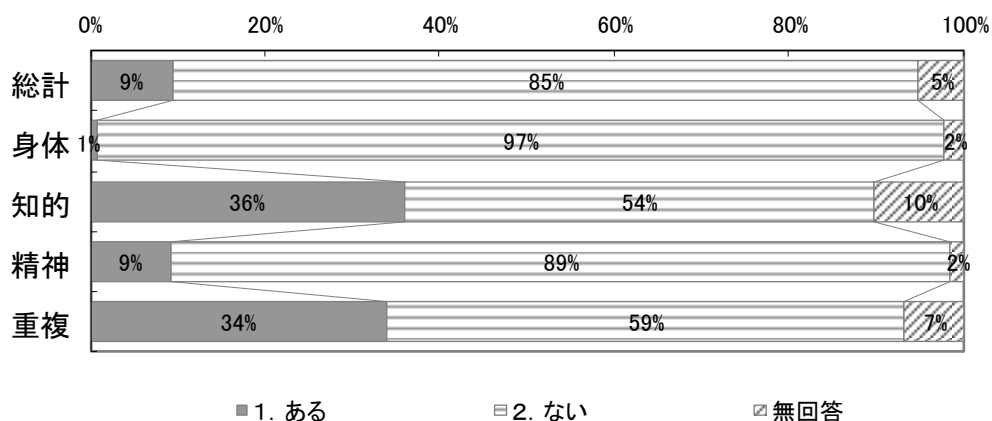
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 受けている	51	11%	41	15%	0	0%	1	2%	9	15%
2. 受けていない	369	83%	223	81%	37	95%	64	98%	45	76%
無回答	25	6%	10	4%	2	5%	0	0%	5	8%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



難病の認定は、11%が「受けている」と回答しています。

問10 あなたは医療機関で発達障がいと診断をされたことがありますか。（○は1つ）

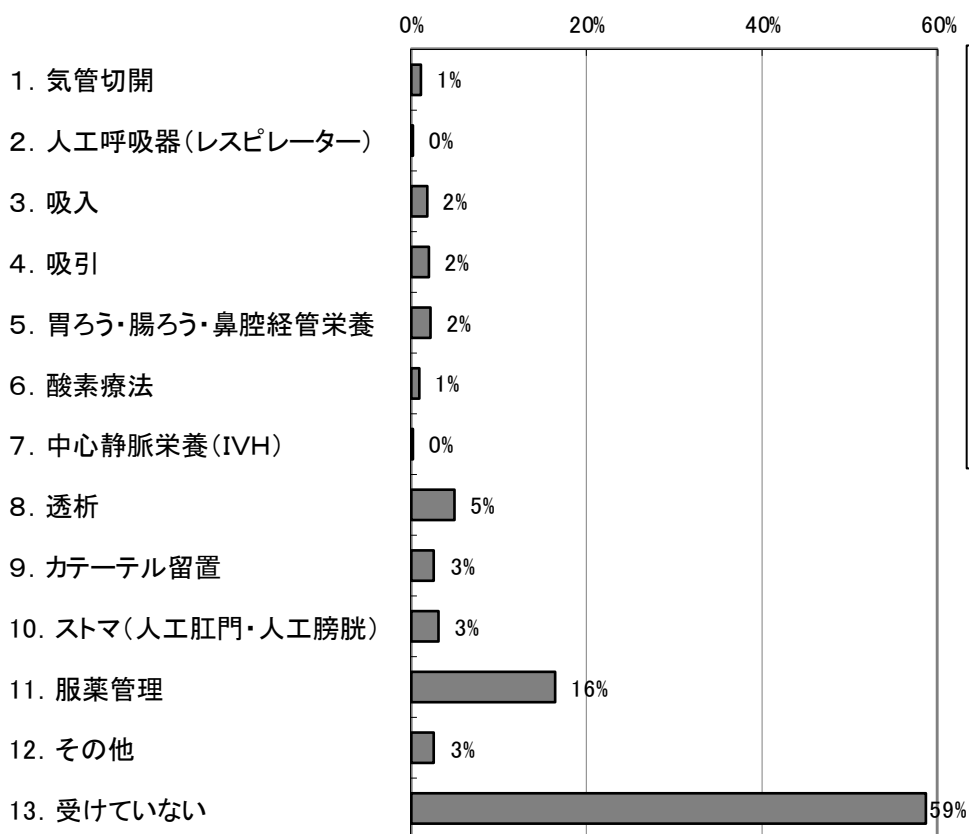
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	42	9%	2	1%	14	36%	6	9%	20	34%
2. ない	380	85%	266	97%	21	54%	58	89%	35	59%
無回答	23	5%	6	2%	4	10%	1	2%	4	7%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



発達障害の診断については、9%が診断されたことが「ある」と回答しています。知的障がい者では36%が「ある」と回答しています。

問11 現在、あなたは、以下のような医療ケアを受けていますか。(〇はいくつでも)

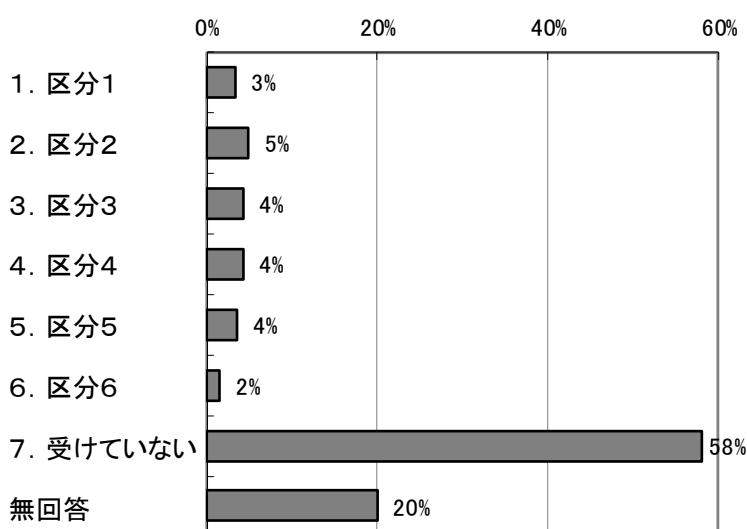
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 気管切開	5	1%	3	1%	0	0%	0	0%	2	3%
2. 人工呼吸器（レスピレーター）	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	1	2%
3. 吸入	8	2%	4	1%	0	0%	0	0%	4	7%
4. 吸引	9	2%	7	3%	0	0%	0	0%	2	3%
5. 胃ろう・腸ろう・鼻腔経管栄養	10	2%	6	2%	0	0%	0	0%	4	7%
6. 酸素療法	4	1%	2	1%	0	0%	0	0%	2	3%
7. 中心静脈栄養（IVH）	1	0%	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8. 透析	22	5%	20	7%	0	0%	0	0%	2	3%
9. カテーテル留置	12	3%	11	4%	0	0%	0	0%	1	2%
10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）	14	3%	12	4%	0	0%	0	0%	2	3%
11. 服薬管理	73	16%	38	14%	8	21%	10	15%	17	29%
12. その他	12	3%	8	3%	2	5%	1	2%	1	2%
13. 受けていない	261	59%	165	60%	26	67%	48	74%	22	37%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



医療ケアは、「受けていない」が59%と最も多いですが、ケアを受けているものでは、「服薬管理」が16%で最も多く、次いで「透析」が5%です。

問 12 障がい支援区分の認定を受けていますか。(○は1つ)

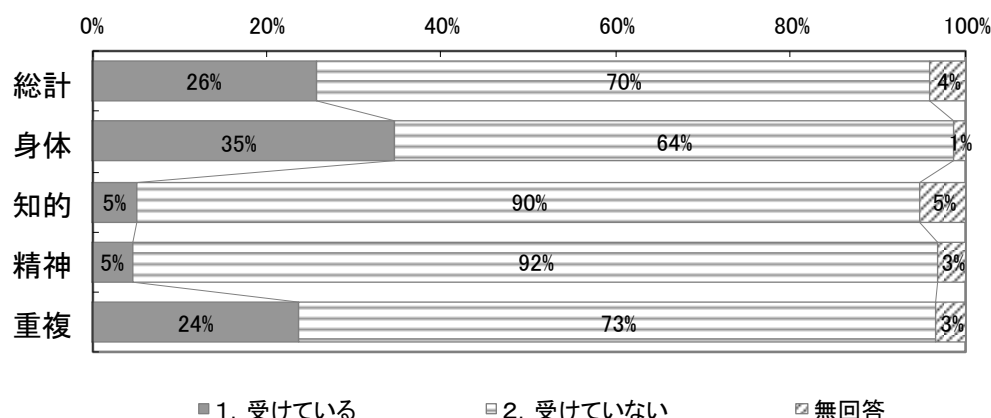
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 区分1	15	3%	11	4%	0	0%	2	3%	2	3%
2. 区分2	22	5%	8	3%	1	3%	5	8%	8	14%
3. 区分3	19	4%	4	1%	3	8%	6	9%	6	10%
4. 区分4	19	4%	12	4%	3	8%	0	0%	4	7%
5. 区分5	16	4%	5	2%	5	13%	0	0%	6	10%
6. 区分6	7	2%	4	1%	1	3%	0	0%	2	3%
7. 受けていない	258	58%	182	66%	20	51%	38	58%	18	31%
無回答	89	20%	48	18%	6	15%	14	22%	13	22%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



障がい支援区分の認定は、「区分1」が3%、「区分2」が5%など表のとおりです。

問 13 あなたは介護保険の要介護認定を受けていますか。(○は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 受けている	114	26%	95	35%	2	5%	3	5%	14	24%
2. 受けていない	313	70%	175	64%	35	90%	60	92%	43	73%
無回答	18	4%	4	1%	2	5%	2	3%	2	3%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

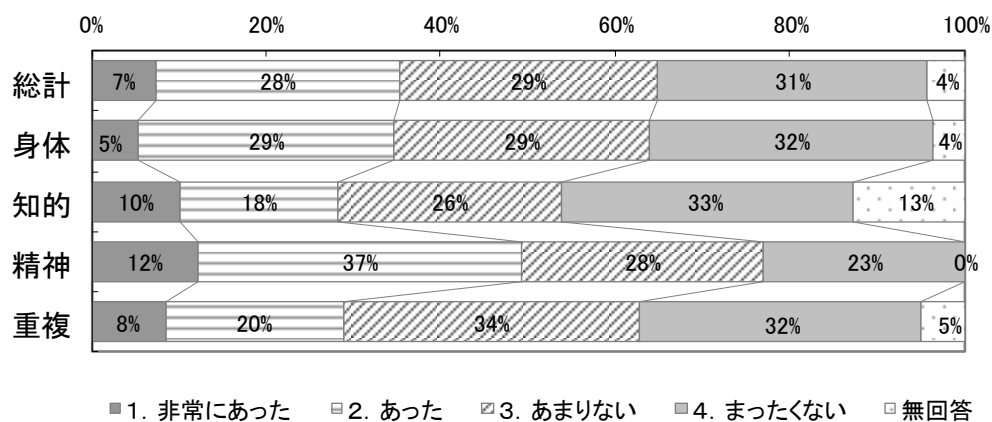


要介護認定は、26%が「受けている」と回答しています。

第3節 日常生活の状況について

問14 あなたは、この3年あまりの新型コロナウイルス感染症の流行により、精神的、身体的に影響はありましたか。(〇は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 非常にあった	33	7%	15	5%	4	10%	8	12%	5	8%
2. あった	124	28%	80	29%	7	18%	24	37%	12	20%
3. あまりない	131	29%	80	29%	10	26%	18	28%	20	34%
4. まったくない	138	31%	89	32%	13	33%	15	23%	19	32%
無回答	19	4%	10	4%	5	13%	0	0%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

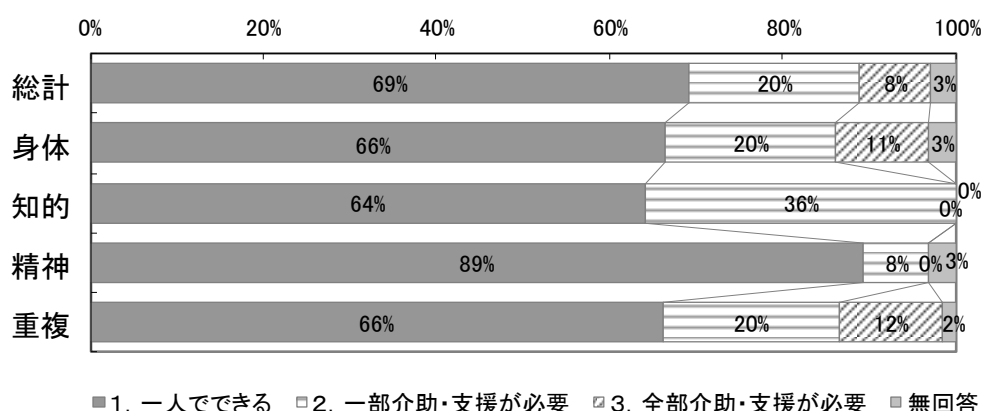


新型コロナウイルス感染症の流行による影響は、35%の方が、「非常にあった」または「あった」と回答しています。

問 15 日常生活で、次のことをどのようにしていますか。（それぞれ○は1つ）

① 食事・トイレ・入浴などの生活動作

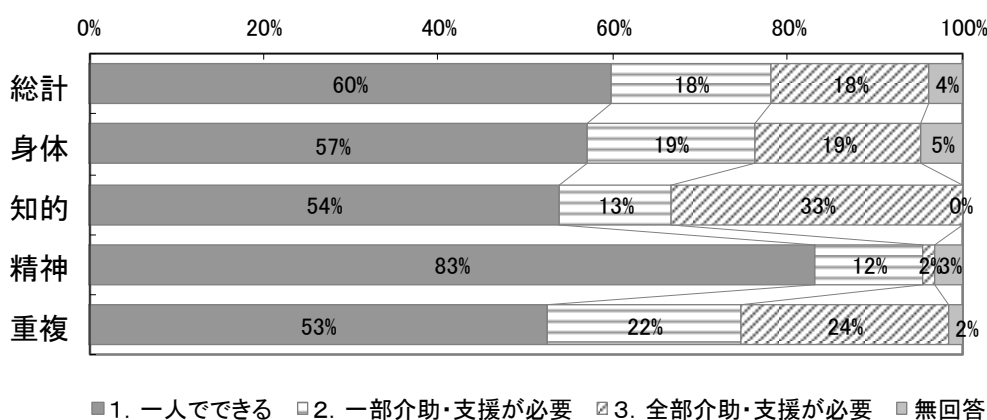
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人で行える	308	69%	182	66%	25	64%	58	89%	39	66%
2. 一部介助・支援が必要	87	20%	54	20%	14	36%	5	8%	12	20%
3. 全部介助・支援が必要	37	8%	29	11%	0	0%	0	0%	7	12%
無回答	13	3%	9	3%	0	0%	2	3%	1	2%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



食事・トイレ・入浴などの生活動作の要介助者は、「全部介助」「一部介助」をあわせて28%です。

② 外出

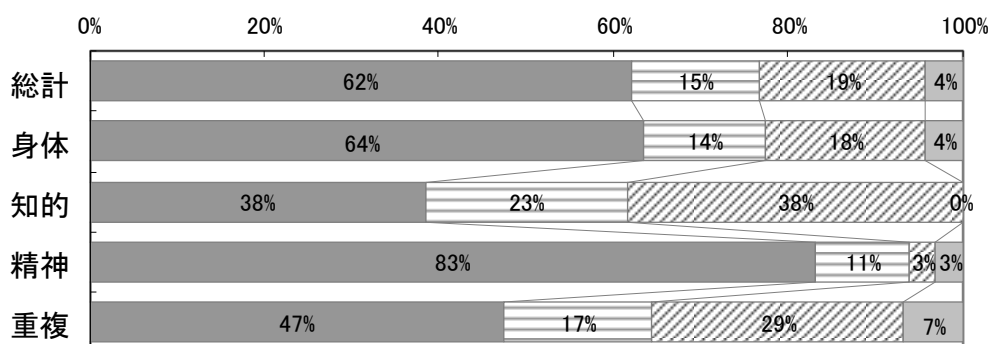
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人で行える	266	60%	156	57%	21	54%	54	83%	31	53%
2. 一部介助・支援が必要	81	18%	53	19%	5	13%	8	12%	13	22%
3. 全部介助・支援が必要	81	18%	52	19%	13	33%	1	2%	14	24%
無回答	17	4%	13	5%	0	0%	2	3%	1	2%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



外出の要介助者は、「全部介助」「一部介助」をあわせて36%です。

③ お金の管理

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人で行える	276	62%	174	64%	15	38%	54	83%	28	47%
2. 一部介助・支援が必要	65	15%	38	14%	9	23%	7	11%	10	17%
3. 全部介助・支援が必要	85	19%	50	18%	15	38%	2	3%	17	29%
無回答	19	4%	12	4%	0	0%	2	3%	4	7%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

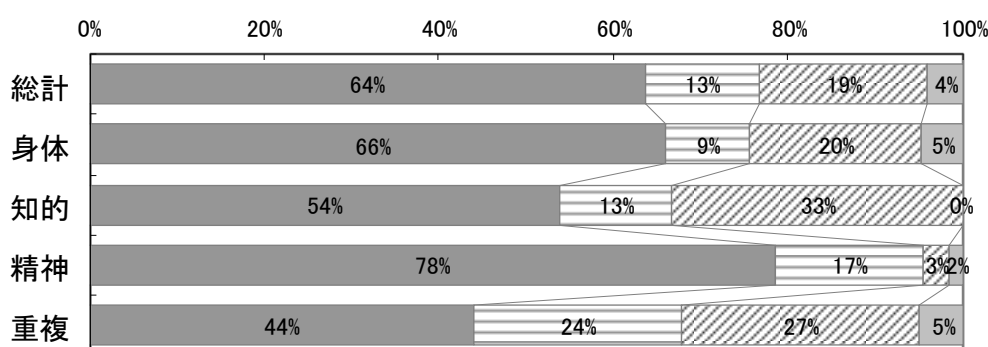


お金の管理の要
「全部介助」「一部
介助」をあわせて
34%です。

■ 1. 一人で行える □ 2. 一部介助・支援が必要 ▨ 3. 全部介助・支援が必要 ■ 無回答

④ 薬の管理

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人で行える	283	64%	181	66%	21	54%	51	78%	26	44%
2. 一部介助・支援が必要	58	13%	26	9%	5	13%	11	17%	14	24%
3. 全部介助・支援が必要	86	19%	54	20%	13	33%	2	3%	16	27%
無回答	18	4%	13	5%	0	0%	1	2%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



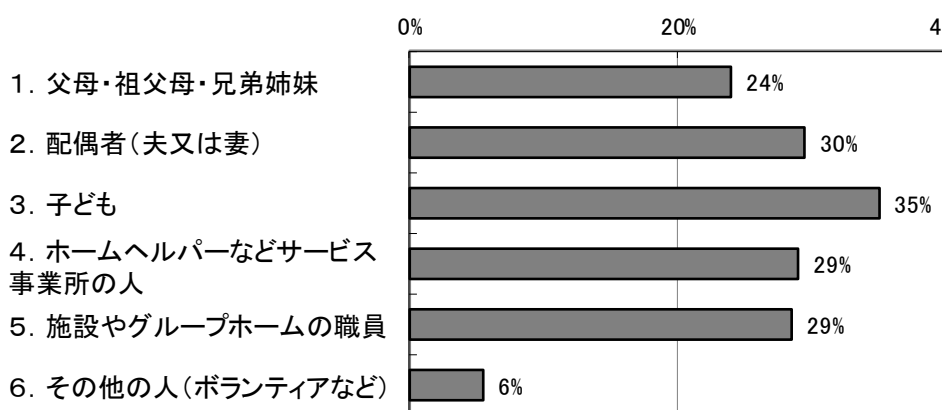
薬の管理の要
介助者は、「全部介
助」「一部介助」を
あわせて 32%で
す。

■ 1. 一人で行える □ 2. 一部介助・支援が必要 ▨ 3. 全部介助・支援が必要 ■ 無回答

【問15で「2 一部介助が必要」又は「3 全部介助が必要」とお答えの方】

問16 介助してくれる方は主に誰ですか。(〇はいくつでも)

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父母・祖父母・兄弟姉妹	48	24%	11	9%	19	76%	8	40%	9	25%
2. 配偶者(夫又は妻)	59	30%	47	41%	0	0%	2	10%	9	25%
3. 子ども	70	35%	58	50%	0	0%	6	30%	5	14%
4. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	58	29%	35	30%	4	16%	7	35%	11	31%
5. 施設やグループホームの職員	57	29%	33	28%	7	28%	4	20%	12	33%
6. その他の人(ボランティアなど)	11	6%	6	5%	1	4%	1	5%	2	6%
合計	200	100%	116	100%	25	100%	20	100%	36	100%



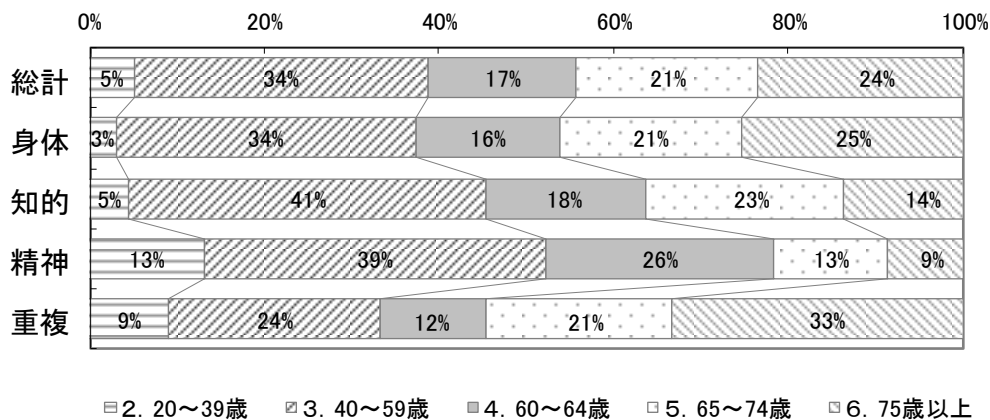
介助者は、「子ども」が35%と最も多く、障がい者の高齢化が進んでいる状況がみてとれます。

【問 16 で「1」～「3」とお答えの方】

問 17 あなたを介助してくれる家族で、特に中心となっている方の年齢などをお答えください。

①年齢

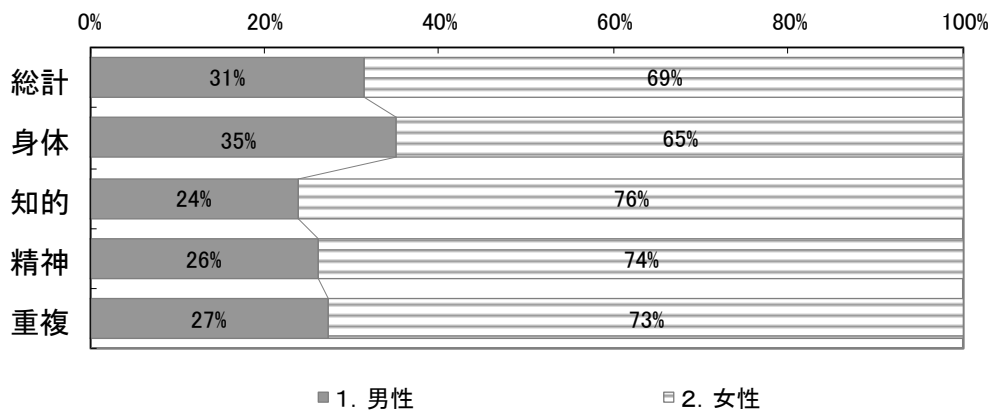
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 19 歳以下	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2. 20～39 歳	11	5%	4	3%	1	5%	3	13%	3	9%
3. 40～59 歳	73	34%	46	34%	9	41%	9	39%	8	24%
4. 60～64 歳	37	17%	22	16%	4	18%	6	26%	4	12%
5. 65～74 歳	45	21%	28	21%	5	23%	3	13%	7	21%
6. 75 歳以上	51	24%	34	25%	3	14%	2	9%	11	33%
合計	217	100%	134	100%	22	100%	23	100%	33	100%



介助者の年齢は「40～59 歳」が多く、性別は女性が多くなっています。

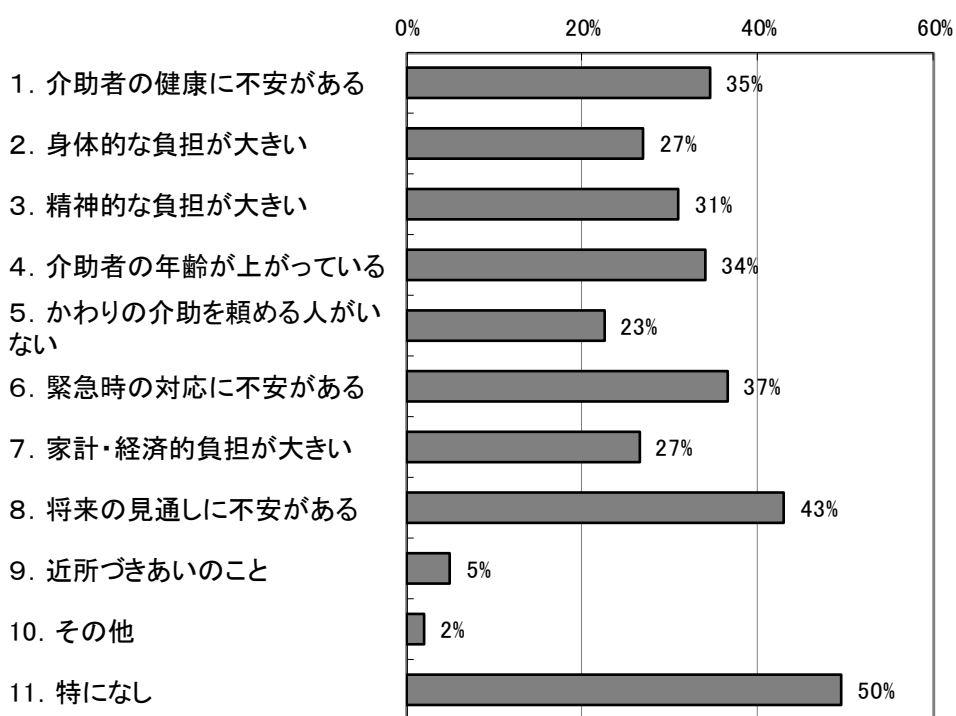
②性別

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	67	31%	46	35%	5	24%	6	26%	9	27%
2. 女性	146	69%	85	65%	16	76%	17	74%	24	73%
3. 答えたくない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	213	100%	131	100%	21	100%	23	100%	33	100%



③あなたが介助者に対して悩んだり、不安に感じていることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

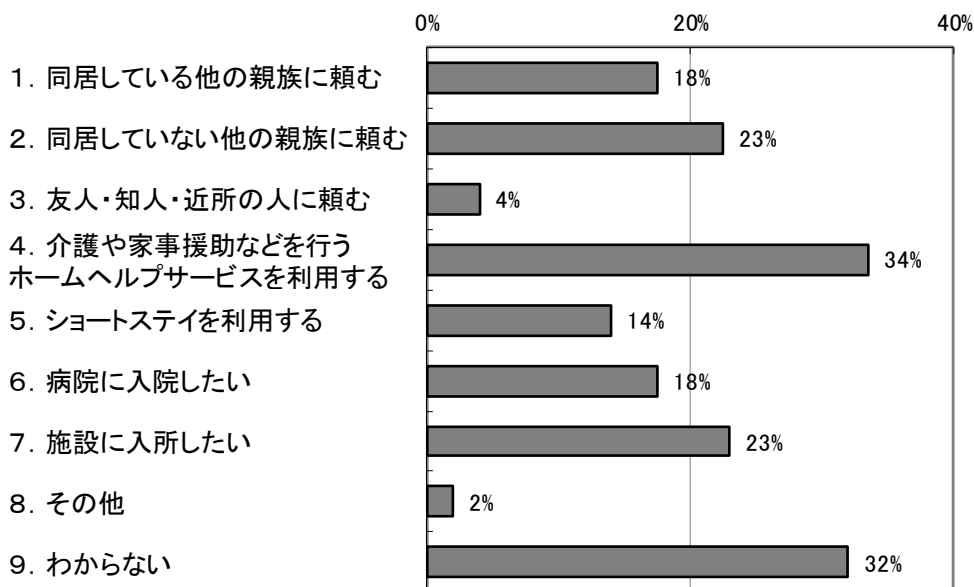
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 介助者の健康に不安がある	69	35%	47	41%	6	24%	5	25%	10	28%
2. 身体的な負担が大きい	54	27%	38	33%	3	12%	3	15%	8	22%
3. 精神的な負担が大きい	62	31%	37	32%	5	20%	7	35%	11	31%
4. 介助者の年齢が上がっている	68	34%	42	36%	9	36%	5	25%	11	31%
5. かわりの介助を頼める人がいない	45	23%	32	28%	3	12%	5	25%	5	14%
6. 緊急時の対応に不安がある	73	37%	57	49%	4	16%	5	25%	5	14%
7. 家計・経済的負担が大きい	53	27%	36	31%	2	8%	6	30%	6	17%
8. 将来の見通しに不安がある	86	43%	51	44%	7	28%	11	55%	15	42%
9. 近所づきあいのこと	10	5%	5	4%	0	0%	1	5%	4	11%
10. その他	4	2%	3	3%	1	4%	0	0%	0	0%
11. 特になし	99	50%	53	46%	13	52%	20	100%	12	33%
合計	200	100%	116	100%	25	100%	20	100%	36	100%



介助者の悩みは、「将来の見通しに不安がある」が43%で最も多く、次いで「緊急時の対応に不安がある」が37%、「介助者の年齢が上がっている」34%と続きます。

④普段、主に介助・支援を行っている方（問17で回答した方）が介助・支援をできないとき、どのようにしたいと思いますか（あてはまるものすべてに○）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 同居している他の親族に頼む	35	18%	20	17%	6	24%	2	10%	7	19%
2. 同居していない他の親族に頼む	45	23%	29	25%	2	8%	7	35%	6	17%
3. 友人・知人・近所の人に頼む	8	4%	4	3%	1	4%	1	5%	2	6%
4. 介護や家事援助などを行うホームヘルプサービスを利用する	67	34%	50	43%	3	12%	4	20%	9	25%
5. ショートステイを利用する	28	14%	18	16%	5	20%	0	0%	5	14%
6. 病院に入院したい	35	18%	29	25%	1	4%	1	5%	4	11%
7. 施設に入所したい	46	23%	33	28%	6	24%	2	10%	3	8%
8. その他	4	2%	1	1%	1	4%	0	0%	2	6%
9. わからない	64	32%	33	28%	7	28%	12	60%	10	28%
合計	200	100%	116	100%	25	100%	20	100%	36	100%

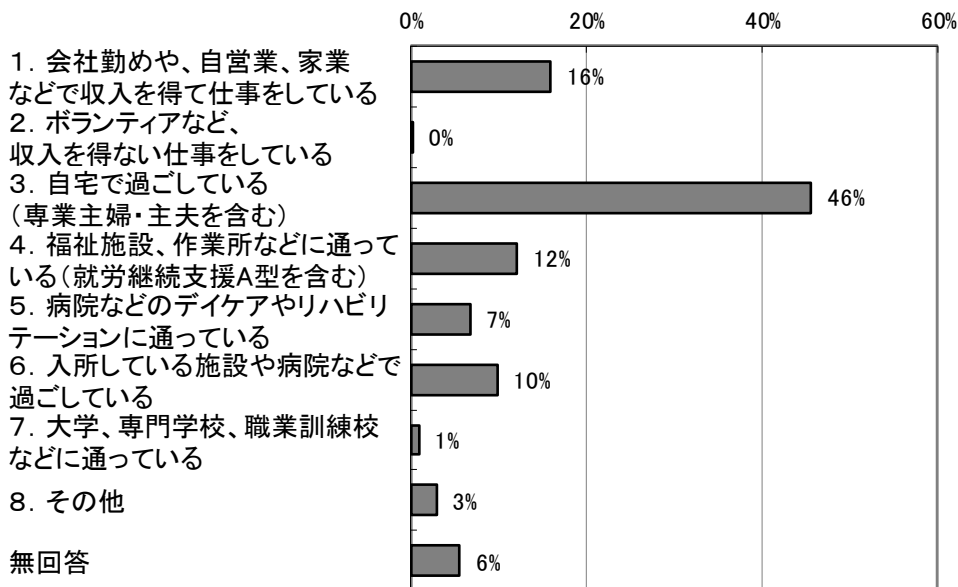


主な介助者が介護できないときの意向は、「介護や家事援助などを行う、ホームヘルプサービスを利用する」が34%と最も高くなっています。他には、「同居していない他の親族に頼む」(23%)、「同居している他の親族に頼む」(18%)という回答もありますが、「施設に入院したい」(23%)、「病院に入院したい」(18%)など公的サービスに頼りたいという意向もみられました。

第4節 日中活動や仕事について

問18 あなたは、平日の日中を主にどのように過ごしていますか。(〇は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 会社勤めや、自営業、家業などで収入を得て仕事をしている	71	16%	42	15%	10	26%	11	17%	5	8%
2. ボランティアなど、収入を得ない仕事をしている	1	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
3. 自宅で過ごしている (専業主婦・主夫を含む)	203	46%	145	53%	6	15%	33	51%	19	32%
4. 福祉施設、作業所などに通っている (就労継続支援A型を含む)	54	12%	7	3%	17	44%	12	18%	17	29%
5. 病院などのデイケアやリハビリテーションに通っている	30	7%	22	8%	0	0%	3	5%	4	7%
6. 入所している施設や病院などで過ごしている	44	10%	31	11%	3	8%	3	5%	7	12%
7. 大学、専門学校、職業訓練校などに通っている	4	1%	0	0%	2	5%	2	3%	0	0%
8. その他	13	3%	9	3%	1	3%	1	2%	2	3%
無回答	25	6%	18	7%	0	0%	0	0%	5	8%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

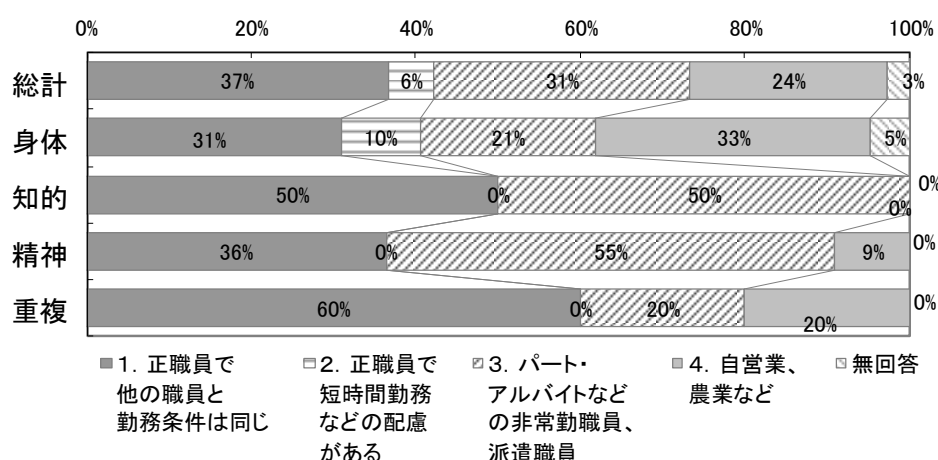


日中の活動場所は、「自宅で過ごしている」が46%と多い状況です。
障がい別では、身体障がい者、精神障がい者、重複障がい者が「自宅で過ごしている」という回答が最も多く、知的障がい者は「福祉施設、作業所などに通っている」が最も多くなっています。

【問 18 で「1（収入を得て仕事をしている）」とお答えの方】

問 18-1 どのような勤務形態で働いていますか。（○は1つだけ）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 正職員で他の職員と勤務条件は同じ	26	37%	13	31%	5	50%	4	36%	3	60%
2. 正職員で短時間勤務などの配慮がある	4	6%	4	10%	0	0%	0	0%	0	0%
3. パート・アルバイトなどの非常勤職員、派遣職員	22	31%	9	21%	5	50%	6	55%	1	20%
4. 自営業、農業など	17	24%	14	33%	0	0%	1	9%	1	20%
5. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	3%	2	5%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	71	100%	42	100%	10	100%	11	100%	5	100%

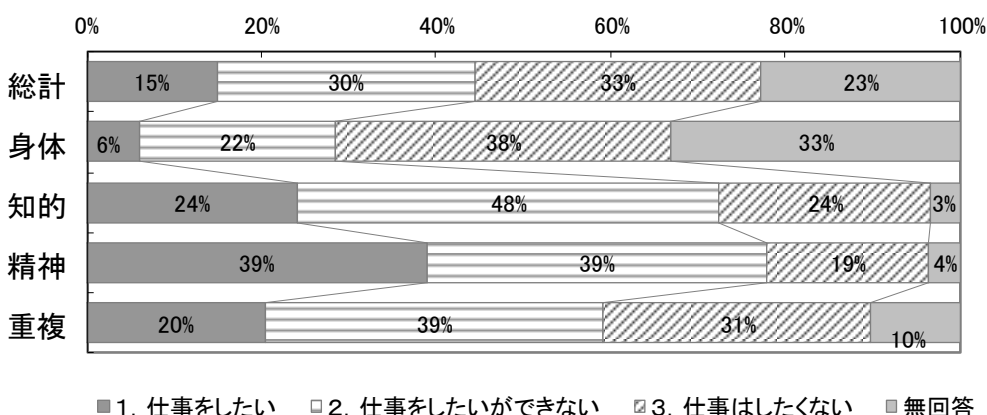


就業者の勤務形態は、「正社員「他の職員と勤務条件は同じ」が37%、「短時間勤務などの配慮がある」が6%などとなっています。

【問 18 で「2」～「8」とお答えの方】

問 18-2 あなたは今後、収入を得る仕事をしたいと思いますか。（○は1つ）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 仕事をしたい	52	15%	13	6%	7	24%	21	39%	10	20%
2. 仕事をしたいができない	103	30%	48	22%	14	48%	21	39%	19	39%
3. 仕事はしたくない	114	33%	82	38%	7	24%	10	19%	15	31%
無回答	80	23%	71	33%	1	3%	2	4%	5	10%
合計	349	100%	214	100%	29	100%	54	100%	49	100%

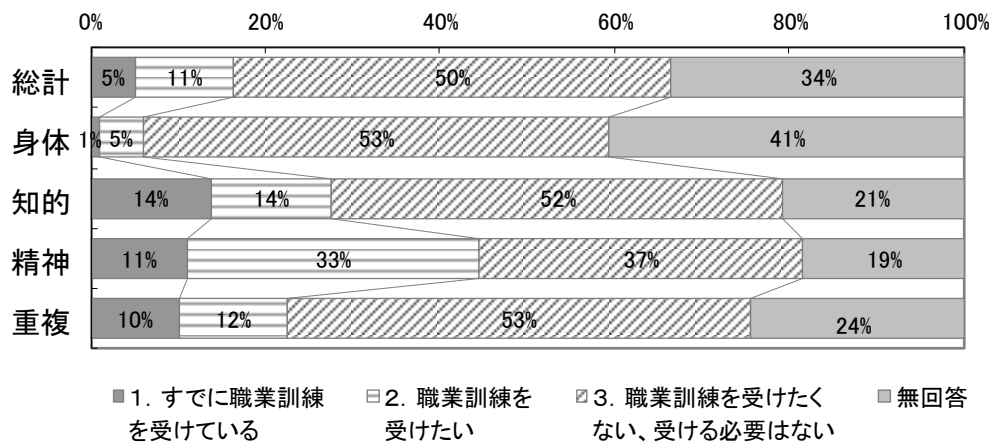


非就業者の就業意向は、「したい」が15%、「したいができない」が30%、「したくない」が33%でした。

【問18で「2」～「8」とお答えの方】

問18-3 収入を得る仕事をするために、職業訓練などを受けたいと思いますか。(〇は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. すでに職業訓練を受けている	18	5%	2	1%	4	14%	6	11%	5	10%
2. 職業訓練を受けたい	39	11%	11	5%	4	14%	18	33%	6	12%
3. 職業訓練を受けたくない、受ける必要はない	175	50%	114	53%	15	52%	20	37%	26	53%
無回答	117	34%	87	41%	6	21%	10	19%	12	24%
合計	349	100%	214	100%	29	100%	54	100%	49	100%

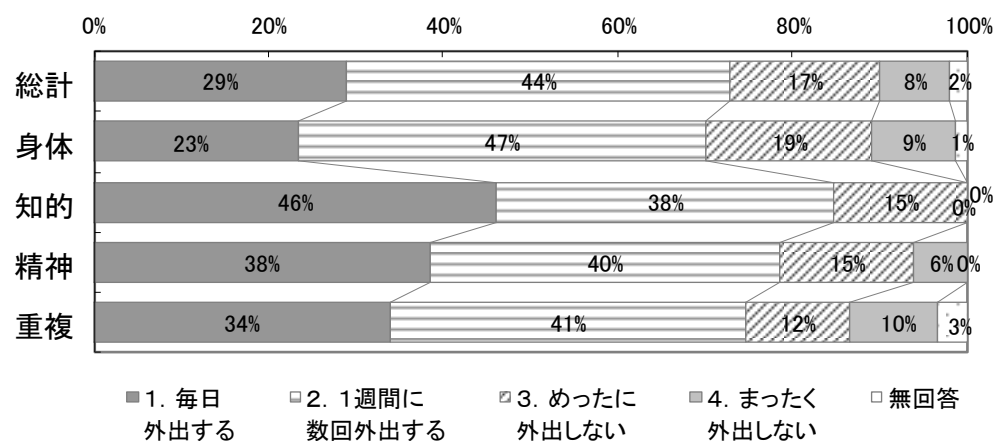


職業訓練などの意向については、「すでに受けている」が5%、「受けたい」11%ありました。

第5節 外出について

問19 あなたは、1週間にどの程度外出しますか。(○は1つ)

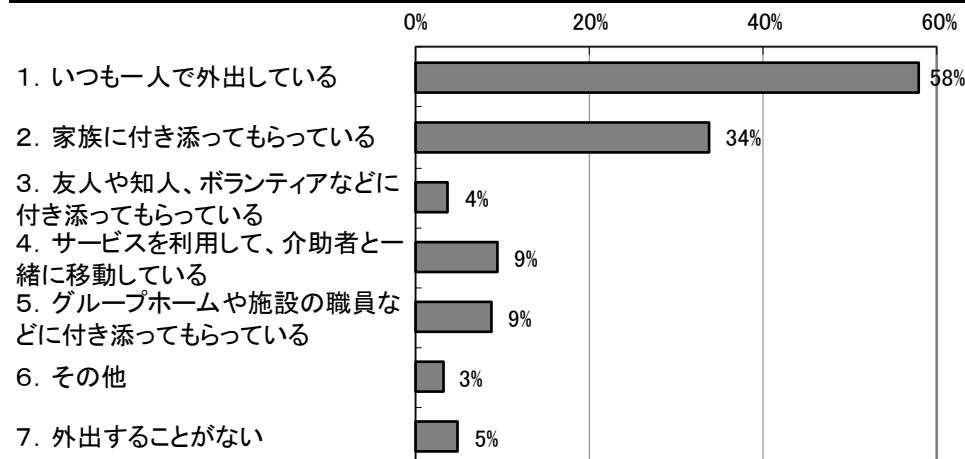
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 毎日外出する	129	29%	64	23%	18	46%	25	38%	20	34%
2. 1週間に数回外出する	195	44%	128	47%	15	38%	26	40%	24	41%
3. めったに外出しない	76	17%	52	19%	6	15%	10	15%	7	12%
4. まったく外出しない	36	8%	26	9%	0	0%	4	6%	6	10%
無回答	9	2%	4	1%	0	0%	0	0%	2	3%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



1週間の外出頻度については、「まったく外出しない」方が8%、「めったに外出しない」方が17%います。

問20 外出するとき、どのようにしていますか。(○はいくつでも)

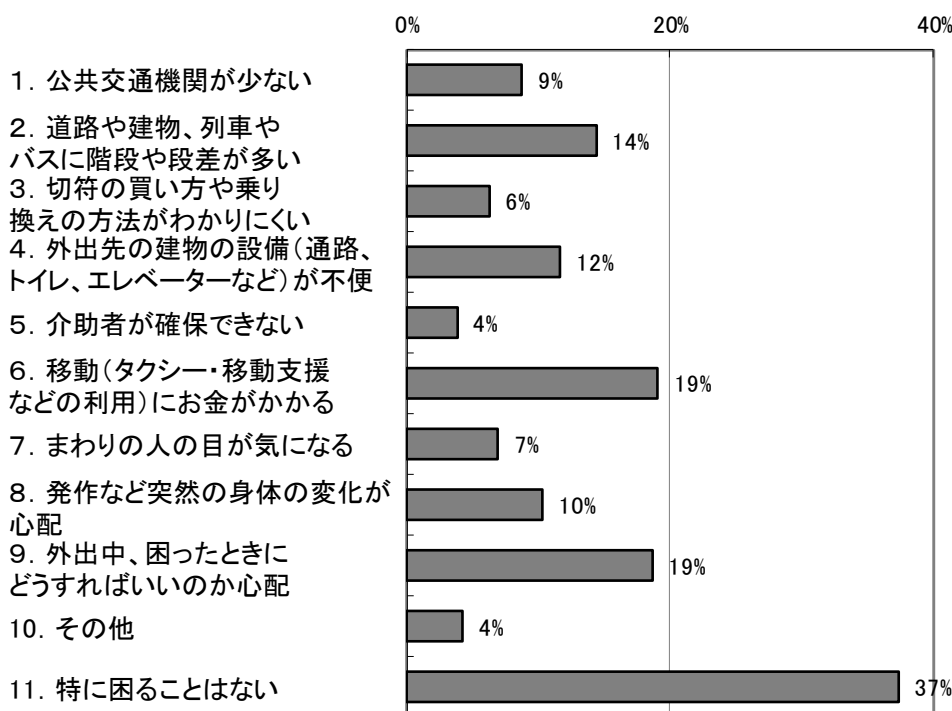
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. いつも一人で外出している	257	58%	148	54%	22	56%	52	80%	30	51%
2. 家族に付き添ってもらっている	150	34%	96	35%	11	28%	20	31%	20	34%
3. 友人や知人、ボランティアなどに付き添ってもらっている	17	4%	6	2%	2	5%	6	9%	3	5%
4. 障がい福祉や介護保険などのサービスを利用して、介助者と一緒に移動している	42	9%	21	8%	5	13%	3	5%	11	19%
5. グループホームや施設の職員などに付き添ってもらっている	39	9%	25	9%	6	15%	0	0%	8	14%
6. その他	14	3%	5	2%	3	8%	2	3%	4	7%
7. 外出することがない	22	5%	17	6%	0	0%	2	3%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



外出時の介助は、「いつも一人で外出している」が58%で、福祉サービスの介助者の利用は1～2割程度となっています。

問 21 外出の際に困ることは何ですか。(〇はいくつでも)

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 公共交通機関が少ない	39	9%	22	8%	2	5%	6	9%	9	15%
2. 道路や建物、列車やバスに階段や段差が多い	64	14%	50	18%	3	8%	4	6%	6	10%
3. 切符の買い方や乗り換えの方法がわかりにくい	28	6%	17	6%	3	8%	3	5%	5	8%
4. 外出先の建物の設備（通路、トイレ、エレベーターなど）が不便	52	12%	37	14%	3	8%	3	5%	7	12%
5. 介助者が確保できない	17	4%	13	5%	2	5%	1	2%	1	2%
6. 移動（タクシー・移動支援などの利用）にお金がかかる	85	19%	56	20%	4	10%	13	20%	9	15%
7. まわりの人の目が気になる	31	7%	8	3%	2	5%	10	15%	10	17%
8. 発作など突然の身体の変化が心配	46	10%	21	8%	2	5%	9	14%	12	20%
9. 外出中、困ったときにどうすればいいのか心配	83	19%	47	17%	7	18%	12	18%	15	25%
10. その他	19	4%	8	3%	3	8%	4	6%	3	5%
11. 特に困ることはない	166	37%	101	37%	20	51%	29	45%	15	25%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



外出する時に困ることは、「特に困ることはない」が 37%で、困る内容としては、「移動（タクシー・移動支援などの利用）にお金がかかる」と「外出中、困ったときにどうすればいいのか心配」がそれぞれ 19%と多い状況です。

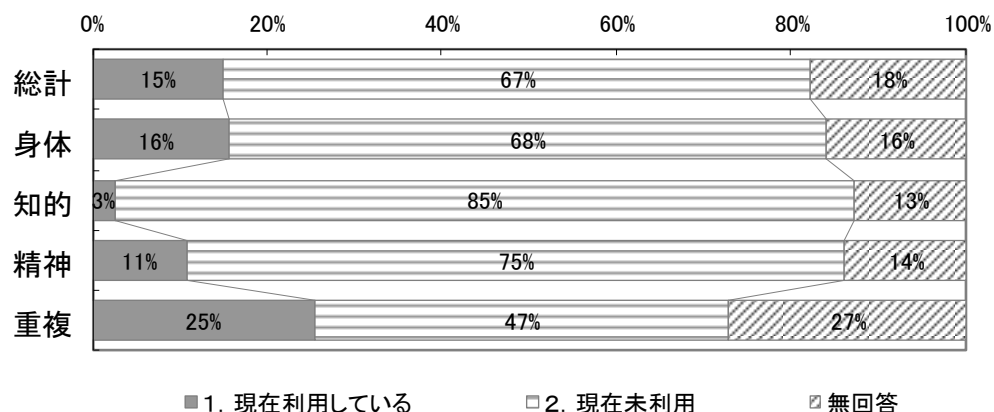
第6節 障がい福祉サービスの利用について

問22 あなたは次のサービスを利用していますか。また、今後、利用したいですか。

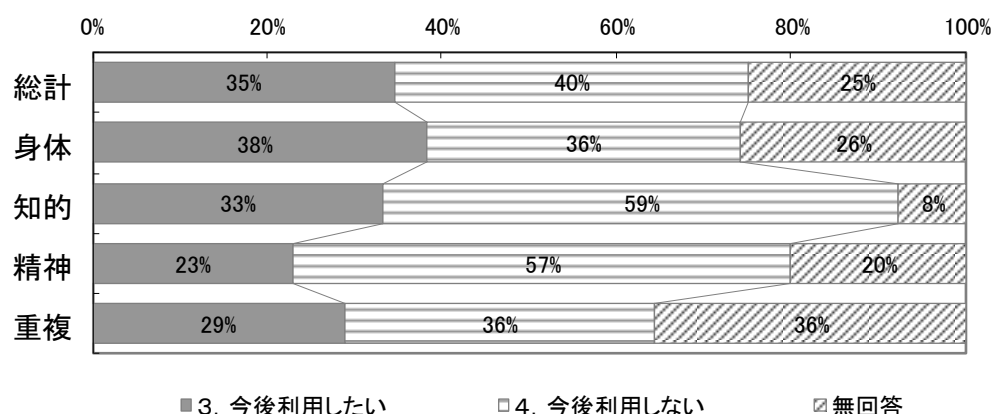
(①から④のそれぞれについて、「現在」と「今後」の両方を回答してください)

①ホームヘルプサービス（居宅介護・行動援護など）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	67	15%	43	16%	1	3%	7	11%	15	25%
2. 現在未利用	299	67%	187	68%	33	85%	49	75%	28	47%
無回答	79	18%	44	16%	5	13%	9	14%	16	27%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	154	35%	105	38%	13	33%	15	23%	17	29%
4. 今後利用しない	180	40%	98	36%	23	59%	37	57%	21	36%
無回答	111	25%	71	26%	3	8%	13	20%	21	36%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

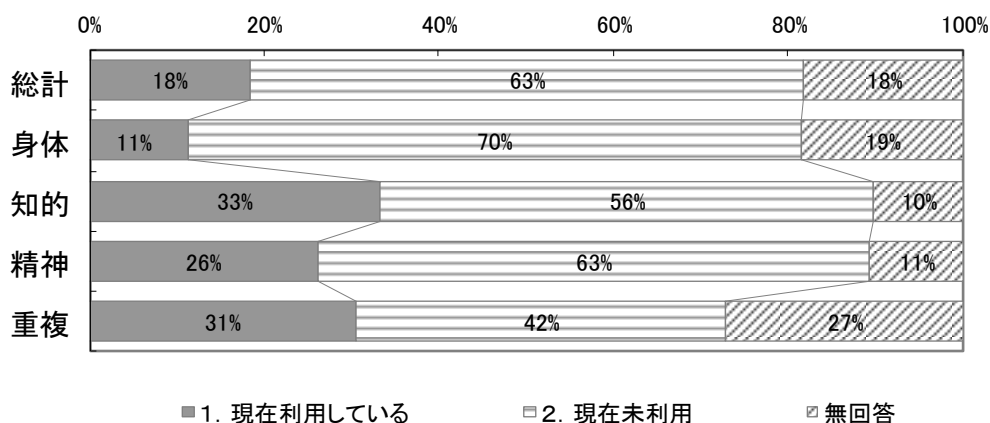


「ホームヘルプサービス」を「現在利用している」は、回答者の15%で、「今後利用したい」（現在利用中の方も含む）は35%となっています。

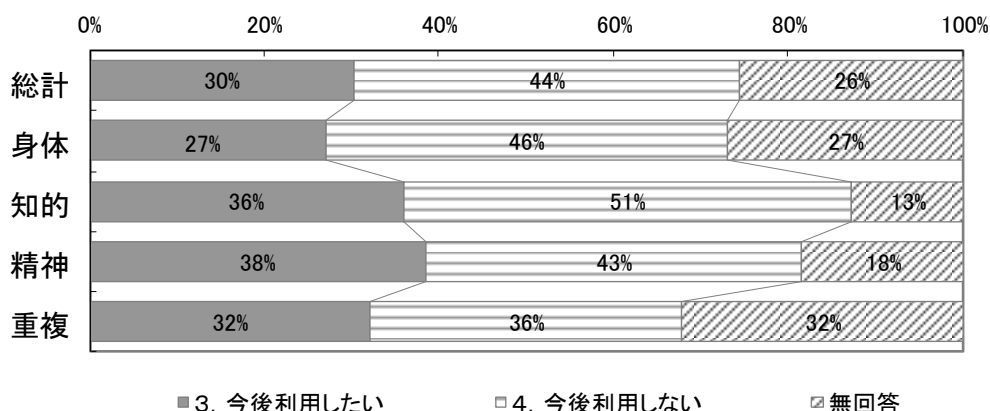
②福祉施設などへの通所

(生活介護・自立訓練・就労移行支援・就労継続支援・地域活動支援センターなど)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	82	18%	31	11%	13	33%	17	26%	18	31%
2. 現在未利用	282	63%	192	70%	22	56%	41	63%	25	42%
無回答	81	18%	51	19%	4	10%	7	11%	16	27%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



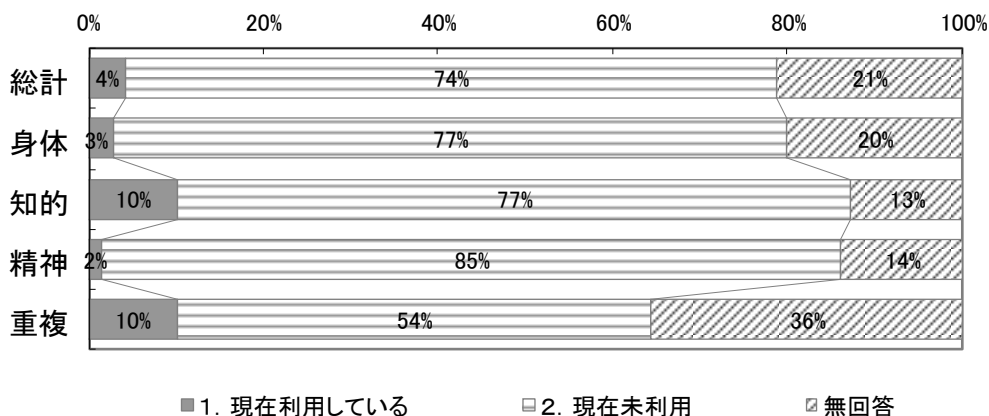
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	135	30%	74	27%	14	36%	25	38%	19	32%
4. 今後利用しない	196	44%	126	46%	20	51%	28	43%	21	36%
無回答	114	26%	74	27%	5	13%	12	18%	19	32%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



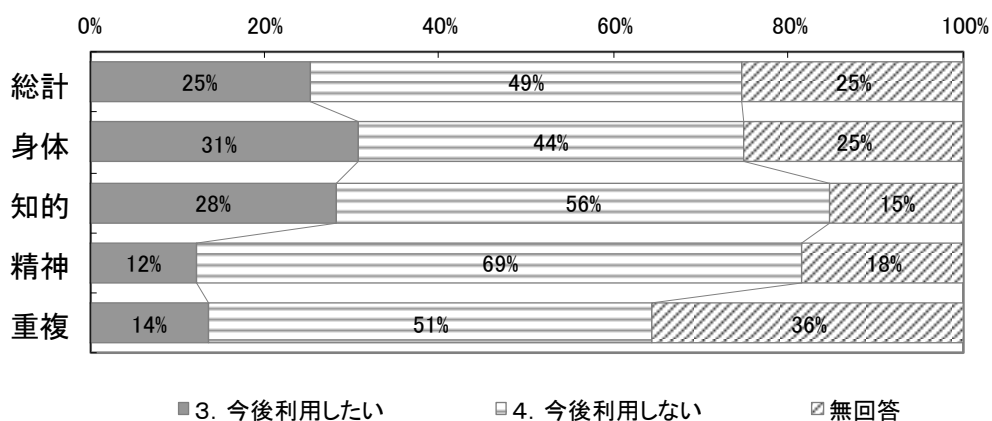
「福祉施設などへの通所」を「現在利用している」は、回答者の18%で、「今後利用したい」(現在利用中の方も含む)は30%となっています。

③短期入所（ショートステイ）

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	19	4%	8	3%	4	10%	1	2%	6	10%
2. 現在未利用	331	74%	211	77%	30	77%	55	85%	32	54%
無回答	95	21%	55	20%	5	13%	9	14%	21	36%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



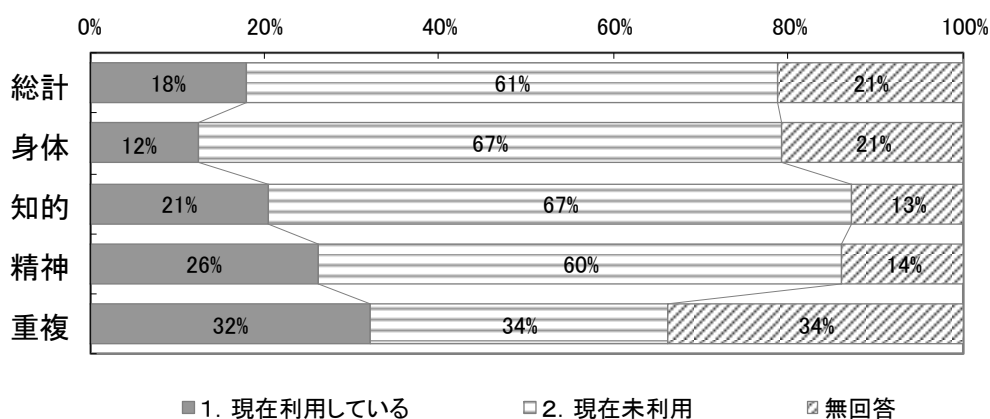
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	112	25%	84	31%	11	28%	8	12%	8	14%
4. 今後利用しない	220	49%	121	44%	22	56%	45	69%	30	51%
無回答	113	25%	69	25%	6	15%	12	18%	21	36%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



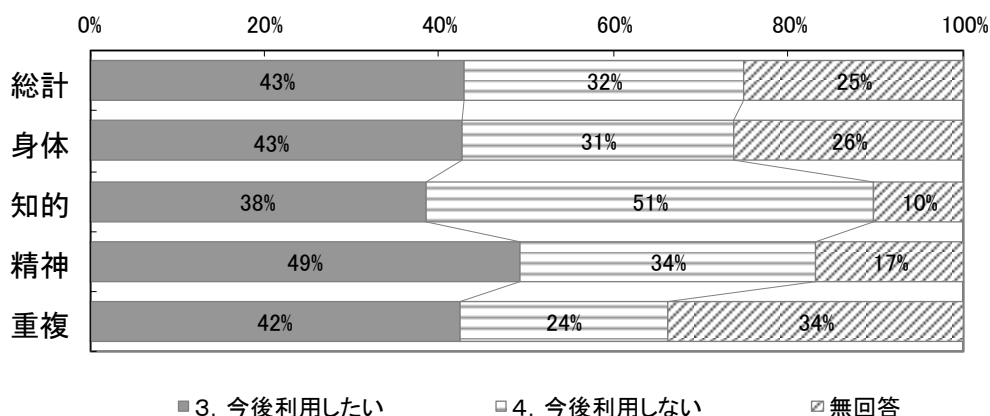
「短期入所」を「現在利用している」は、回答者の4%で、「今後利用したい」（現在利用中の方も含む）は25%となっており、身体障がい者と知的障がい者で特に利用希望が高くなっています。

④相談支援

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	80	18%	34	12%	8	21%	17	26%	19	32%
2. 現在未利用	270	61%	183	67%	26	67%	39	60%	20	34%
無回答	95	21%	57	21%	5	13%	9	14%	20	34%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



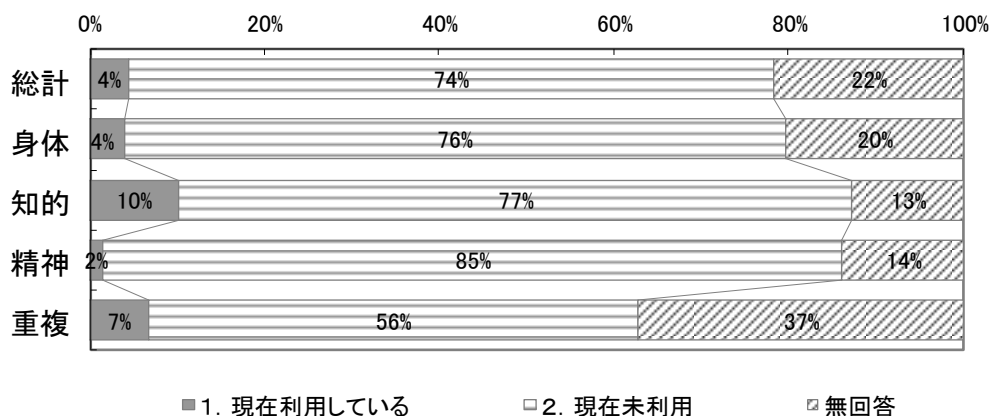
	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	191	43%	117	43%	15	38%	32	49%	25	42%
4. 今後利用しない	142	32%	85	31%	20	51%	22	34%	14	24%
無回答	112	25%	72	26%	4	10%	11	17%	20	34%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



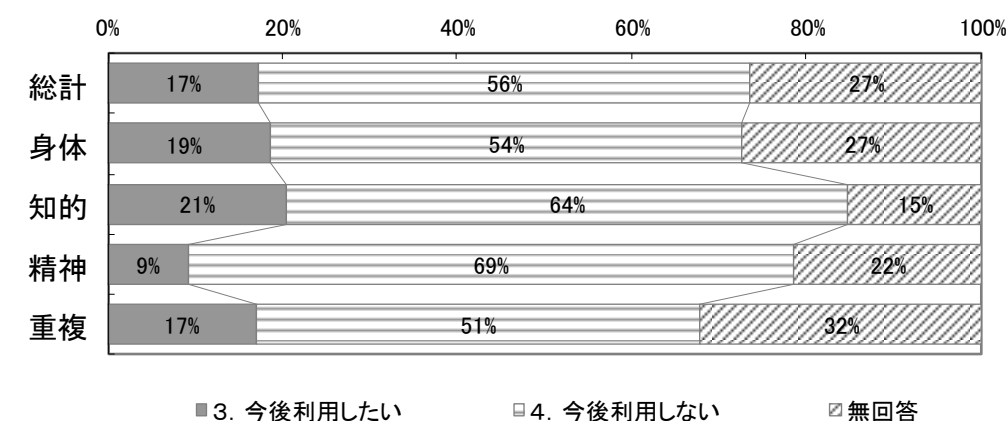
「相談支援」を「現在利用している」は、回答者の18%で、「今後利用したい」（現在利用中の方も含む）は43%となっています。

⑤施設入所支援

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	20	4%	11	4%	4	10%	1	2%	4	7%
2. 現在未利用	328	74%	207	76%	30	77%	55	85%	33	56%
無回答	97	22%	56	20%	5	13%	9	14%	22	37%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



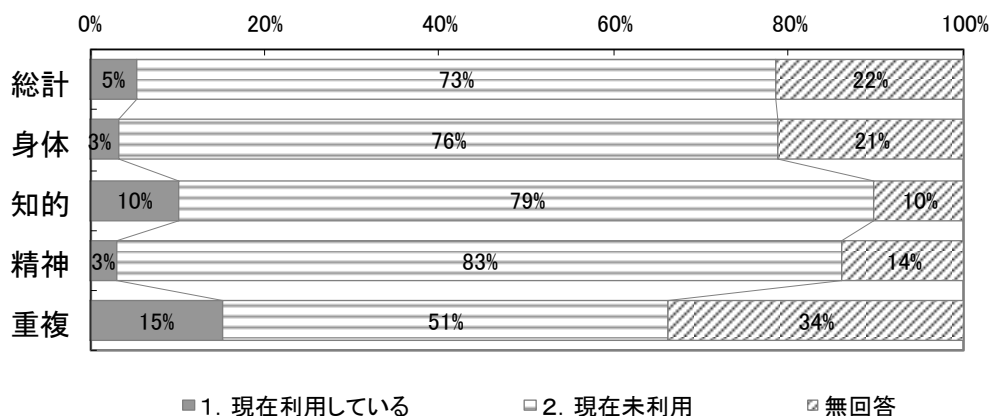
	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	77	17%	51	19%	8	21%	6	9%	10	17%
4. 今後利用しない	250	56%	148	54%	25	64%	45	69%	30	51%
無回答	118	27%	75	27%	6	15%	14	22%	19	32%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



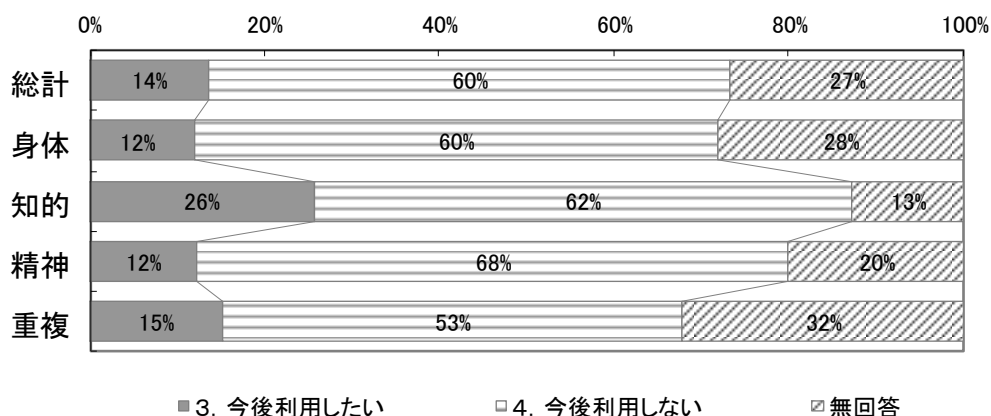
「施設入所支援」を「現在利用している」は、回答者の4%で、「今後利用したい」（現在利用中の方も含む）は17%となっています。

⑥障害者グループホーム（共同生活援助）

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 現在利用している	24	5%	9	3%	4	10%	2	3%	9	15%
2. 現在未利用	325	73%	207	76%	31	79%	54	83%	30	51%
無回答	96	22%	58	21%	4	10%	9	14%	20	34%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
3. 今後利用したい	61	14%	33	12%	10	26%	8	12%	9	15%
4. 今後利用しない	265	60%	164	60%	24	62%	44	68%	31	53%
無回答	119	27%	77	28%	5	13%	13	20%	19	32%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

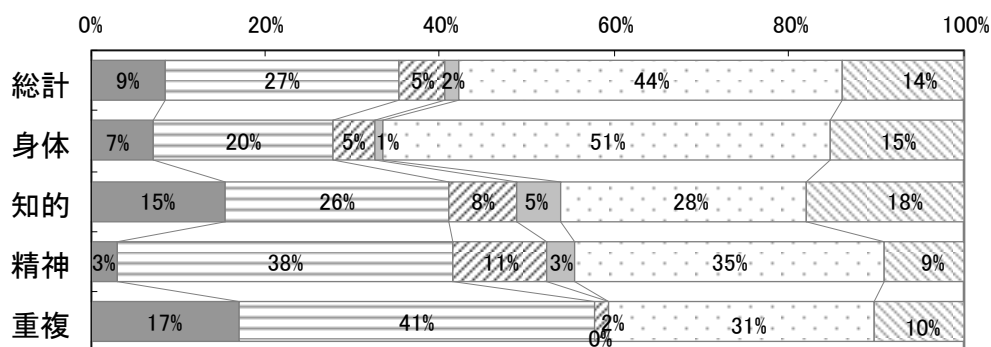


「障害者グループホーム」を「現在利用している」は、回答者の5%で、「今後利用したい」（現在利用中の方も含む）は14%となっています。「今後利用したい」は知的障がい者で26%と多くなっています。

問 23 あなたは、現在利用している障がい福祉サービスについて、どの程度満足していますか。

(○は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. とても満足している	38	9%	20	7%	6	15%	2	3%	10	17%
2. おおむね満足している	119	27%	56	20%	10	26%	25	38%	24	41%
3. やや不満である	24	5%	13	5%	3	8%	7	11%	1	2%
4. とても不満である	7	2%	3	1%	2	5%	2	3%	0	0%
5. サービスを利用していない	195	44%	140	51%	11	28%	23	35%	18	31%
無回答	62	14%	42	15%	7	18%	6	9%	6	10%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



■ 1. とても満足 □ 2. おおむね満足 □ 3. やや不満 ■ 4. とても不満 □ 5. サービスを利用していない
 している 満足している である である していない

福祉サービスへの満足度は、「とても満足している」が5%、「おおむね満足している」が25%、「どちらともいえない」が28%、「やや不満である」が4%、「とても不満である」が3%で、総じて満足しているという結果が得られました。

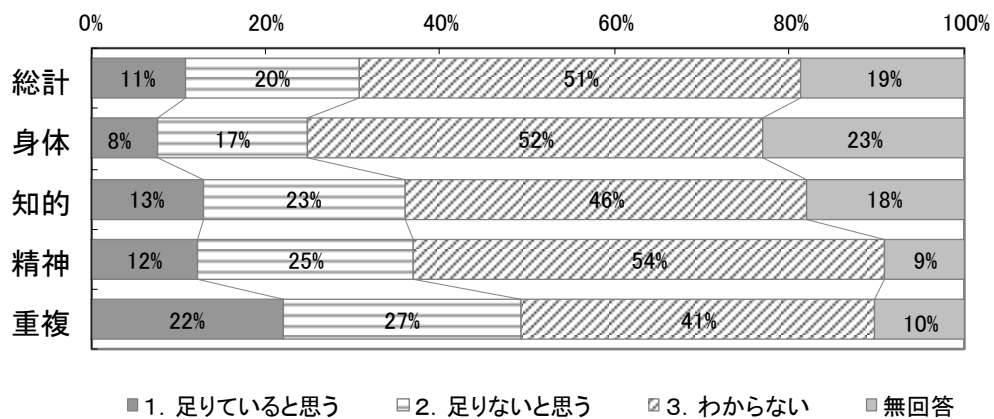
また、不満と回答した方にその理由をたずねたところ、「利用者負担が高い」が32%と最も多く、「本人や家族の意向を尊重してもらえない」も19%ありました。

問 23-1 不満と思うのはなぜですか。(○はいくつでも)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 通いやすい場所に事業所がない	3	10%	1	6%	0	0%	2	22%	0	0%
2. 希望する曜日や時間に利用できない	5	16%	3	19%	1	20%	1	11%	0	0%
3. 本人や家族の意向を尊重してもらえない	6	19%	5	31%	0	0%	1	11%	0	0%
4. 職員の知識や経験が不足している	5	16%	4	25%	1	20%	0	0%	0	0%
5. プライバシーの配慮に欠ける	2	6%	1	6%	0	0%	1	11%	0	0%
6. 利用者負担が高い	10	32%	7	44%	1	20%	2	22%	0	0%
7. 引き受けてくれる事業所が見つからない	2	6%	2	13%	0	0%	0	0%	0	0%
8. その他	4	13%	1	6%	1	20%	2	22%	0	0%
合計	31	100%	16	100%	5	100%	9	100%	1	100%

問 24 地域で生活する上で、制度やサービスは足りていると思いますか。(○は1つ)

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 足りていると思う	48	11%	21	8%	5	13%	8	12%	13	22%
2. 足りないと思う	89	20%	47	17%	9	23%	16	25%	16	27%
3. わからない	225	51%	143	52%	18	46%	35	54%	24	41%
無回答	83	19%	63	23%	7	18%	6	9%	6	10%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

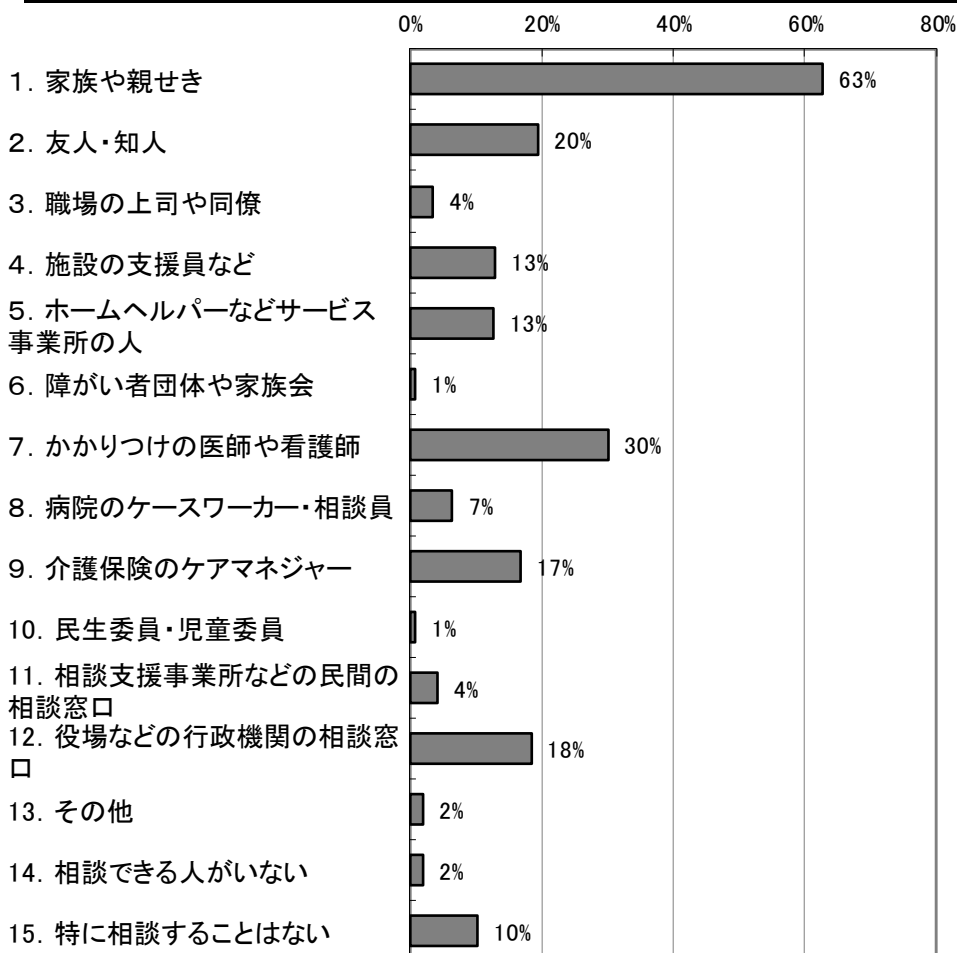


「地域で生活する上で、制度やサービスは足りていると思うか」については、「足りていると思う」が11%、「足りないと思う」が20%、「わからない」が51%などとなっています。

第 7 節 相談や情報について

問 25 困っていることや悩み、サービスのことなどを相談するのは誰、あるいはどこですか。(〇はいくつでも)

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 家族や親せき	279	63%	176	64%	24	62%	44	68%	30	51%
2. 友人・知人	87	20%	50	18%	7	18%	20	31%	8	14%
3. 職場の上司や同僚	16	4%	2	1%	5	13%	5	8%	4	7%
4. 施設の支援員など	58	13%	21	8%	11	28%	10	15%	13	22%
5. ホームヘルパーなどサービス事業所の人	57	13%	30	11%	3	8%	10	15%	13	22%
6. 障がい者団体や家族会	4	1%	1	0%	2	5%	0	0%	1	2%
7. かかりつけの医師や看護師	134	30%	69	25%	12	31%	29	45%	22	37%
8. 病院のケースワーカー・相談員	29	7%	11	4%	1	3%	6	9%	11	19%
9. 介護保険のケアマネジャー	75	17%	63	23%	2	5%	4	6%	6	10%
10. 民生委員・児童委員	4	1%	3	1%	0	0%	1	2%	0	0%
11. 相談支援事業所などの民間の相談窓口	19	4%	5	2%	5	13%	4	6%	5	8%
12. 役場などの行政機関の相談窓口	82	18%	51	19%	10	26%	7	11%	11	19%
13. その他	9	2%	1	0%	2	5%	4	6%	2	3%
14. 相談できる人がいない	9	2%	4	1%	2	5%	1	2%	2	3%
15. 特に相談することはない	46	10%	37	14%	2	5%	4	6%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



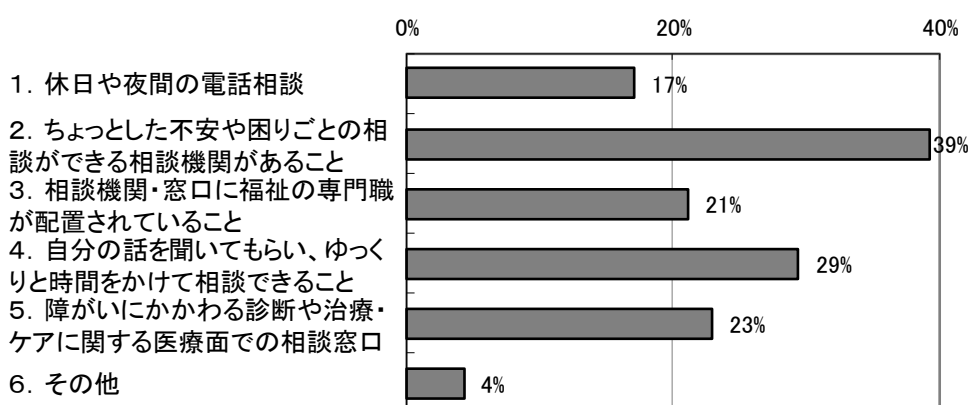
相談相手・相談先については、公的機関では、「かかりつけの医師や看護師」が30%で最も多く、特に精神障がい者では45%と高い割合になっています。

また、「役場などの行政機関の相談窓口」が18%、「介護保険のケアマネジャー」が17%と続いています。

「相談できる人がいない」もわずかながら回答がみられます。

問 26 今後の相談支援体制について、どのようなことを希望しますか。(〇はいくつでも)

	総計		身体 障がい者		知的 障がい者		精神 障がい者		重複 障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 休日や夜間の電話相談	76	17%	52	19%	6	15%	8	12%	10	17%
2. ちょっとした不安や困りごとの相談ができる相談機関があること	175	39%	100	36%	20	51%	33	51%	20	34%
3. 相談機関・窓口福祉の専門職が配置されていること	94	21%	60	22%	10	26%	15	23%	8	14%
4. 自分の話を聞いてもらい、ゆっくりと時間をかけて相談できること	131	29%	68	25%	12	31%	22	34%	28	47%
5. 障がいにかかわる診断や治療・ケアに関する医療面での相談窓口	102	23%	67	24%	10	26%	11	17%	12	20%
6. その他	19	4%	6	2%	4	10%	5	8%	3	5%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

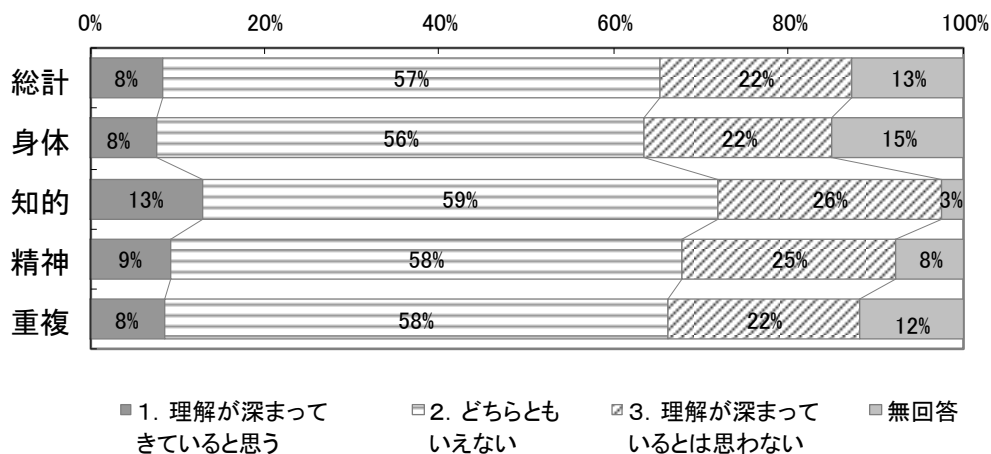


相談支援体制の意向については、「ちょっとした不安や困りごとの相談ができる相談機関があること」が39%で最も多く、次いで「自分の話を聞いてもらい、ゆっくりと時間をかけて相談できること」が29%となっています。

第8節 社会への啓発について

問27 あなたは、障がいのある人が地域で暮らしたり、就職などの社会参加について、一般の人の理解が深まってきていると思いますか。(〇は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 理解が深まってきていると思う	37	8%	21	8%	5	13%	6	9%	5	8%
2. どちらともいえない	253	57%	153	56%	23	59%	38	58%	34	58%
3. 理解が深まっているとは思わない	98	22%	59	22%	10	26%	16	25%	13	22%
無回答	57	13%	41	15%	1	3%	5	8%	7	12%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

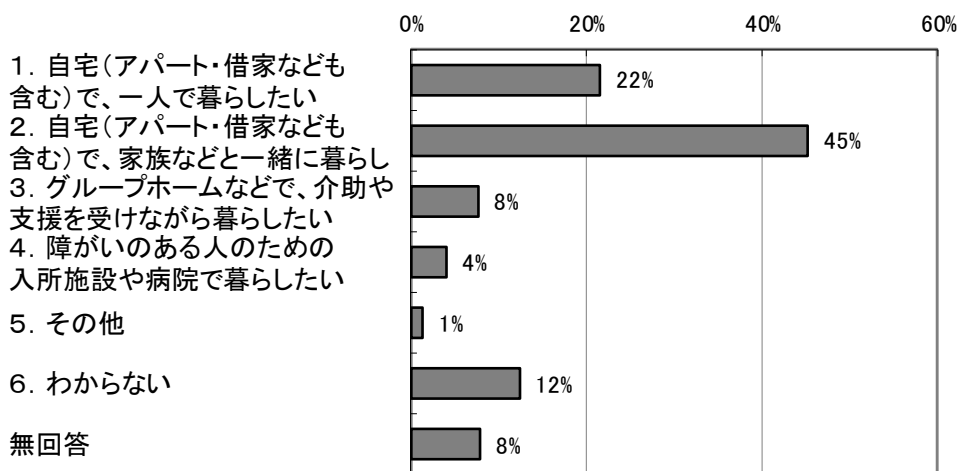


障がい者への理解については、「理解が深まってきていると思う」は8%、「どちらともいえない」が57%、「理解が深まっているとは思わない」が22%となっています。

第9節 地域での生活について

問28 あなたは将来、どのように生活したいと思いますか。(○は1つ)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 自宅(アパート・借家なども含む)で、一人で暮らしたい	96	22%	52	19%	5	13%	23	35%	13	22%
2. 自宅(アパート・借家なども含む)で、家族などと一緒に暮らしたい	201	45%	139	51%	16	41%	26	40%	18	31%
3. グループホームなどで、介助や支援を受けながら暮らしたい	34	8%	17	6%	10	26%	1	2%	6	10%
4. 障がいのある人のための入所施設や病院で暮らしたい	18	4%	8	3%	3	8%	2	3%	5	8%
5. その他	6	1%	3	1%	2	5%	1	2%	0	0%
6. わからない	55	12%	30	11%	2	5%	9	14%	13	22%
無回答	35	8%	25	9%	1	3%	3	5%	4	7%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%



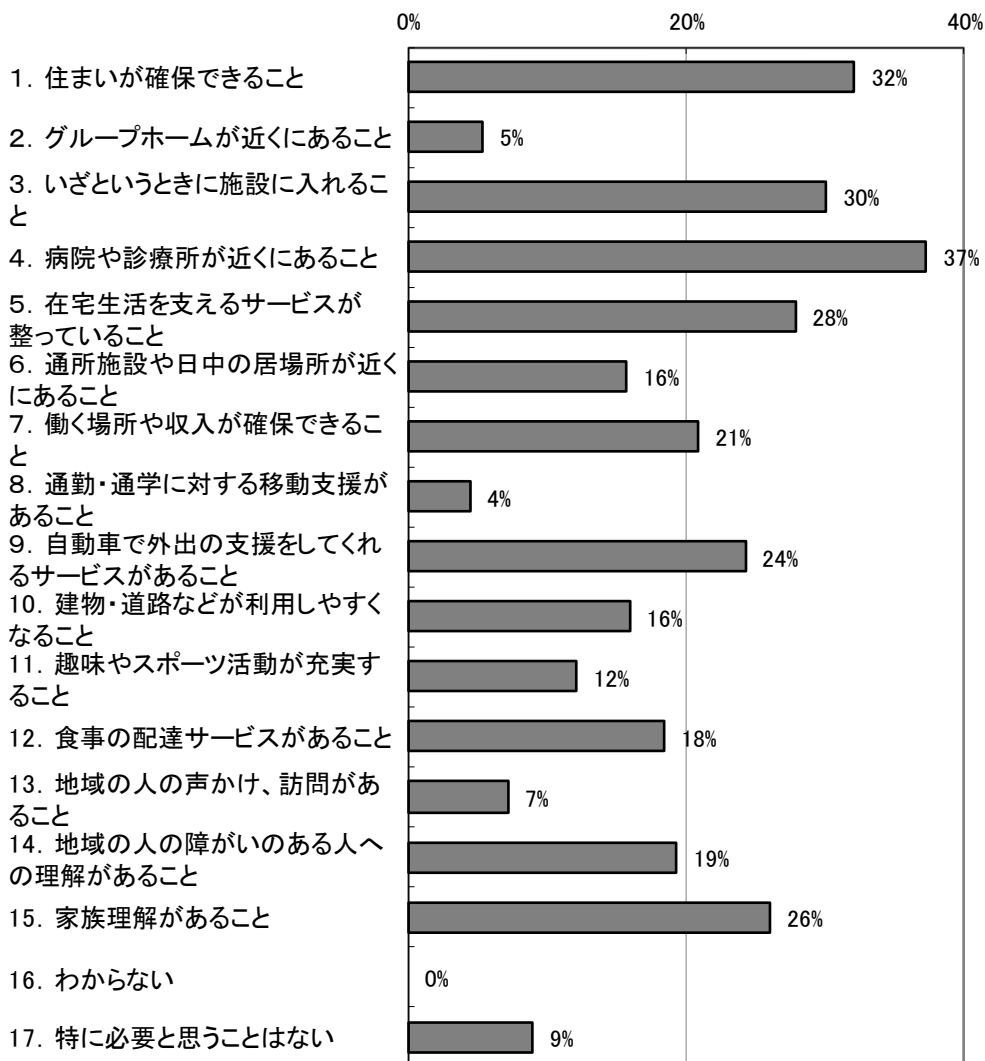
今後の生活の意向については、「自宅」という回答が多く、「グループホームなど」は8%、「入所施設や病院」は4%となっています。知的障がい者では、「グループホームなど」は26%と多くなっています。

問 29 あなたが望む暮らしを実現するためには、どのようなことが必要だと思いますか。

(〇はいくつでも)

	総計		身体障がい者		知的障がい者		精神障がい者		重複障がい者	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 住まいが確保できること	143	32%	68	25%	20	51%	33	51%	21	36%
2. グループホームが近くにあること	24	5%	9	3%	8	21%	5	8%	2	3%
3. いざというときに施設に入れること	134	30%	93	34%	10	26%	14	22%	15	25%
4. 病院や診療所が近くにあること	166	37%	107	39%	10	26%	27	42%	21	36%
5. 在宅生活を支えるサービスが整っていること	124	28%	86	31%	12	31%	15	23%	11	19%
6. 通所施設や日中の居場所が近くにあること	70	16%	38	14%	9	23%	11	17%	12	20%
7. 働く場所や収入が確保できること	93	21%	34	12%	12	31%	30	46%	17	29%
8. 通勤・通学に対する移動支援があること	20	4%	4	1%	5	13%	6	9%	5	8%
9. 自動車で外出の支援をしてくれるサービスがあること	108	24%	68	25%	11	28%	14	22%	14	24%
10. 建物・道路などが利用しやすくなること	71	16%	43	16%	7	18%	14	22%	7	12%
11. 趣味やスポーツ活動が充実すること	54	12%	26	9%	7	18%	12	18%	9	15%
12. 食事の配達サービスがあること	82	18%	53	19%	5	13%	12	18%	10	17%
13. 地域の人からの声かけ、訪問があること	32	7%	21	8%	5	13%	3	5%	3	5%
14. 地域の人からの障がいのある人への理解があること	86	19%	40	15%	17	44%	17	26%	11	19%
15. 家族理解があること	116	26%	69	25%	5	13%	23	35%	17	29%
16. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
17. 特に必要と思うことはない	40	9%	26	9%	1	3%	6	9%	6	10%
合計	445	100%	274	100%	39	100%	65	100%	59	100%

「望む暮らしを実現するための条件」については、「病院や診療所が近くにあること」が 37%で最も多く、次いで「住まいが確保できること」が 32%、「いざというときに施設に入れること」が 30%、「在宅生活を支えるサービスが整っていること」が 28%などとなっています。



第2章 子ども用調査

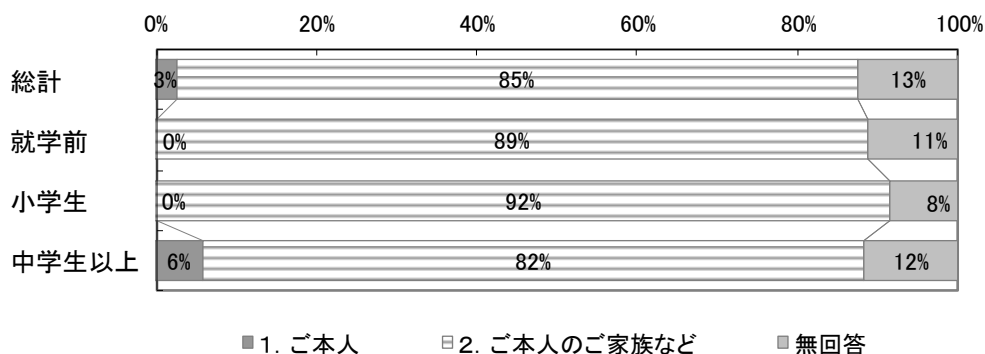
子ども用調査の集計結果は、以下のとおりです。

子ども用調査では、年齢を0～5歳、6～12歳、13～18歳に分け、それぞれ、就学前児童、小学生、中学生以上と呼称して、クロス表を掲載します。

第1節 属性

問1 お答えいただく方は、どなたですか。(〇は1つ)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ご本人	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
2. ご本人のご家族など	34	85%	8	89%	11	92%	14	82%
3. ご家族以外の介助者	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	5	13%	1	11%	1	8%	2	12%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

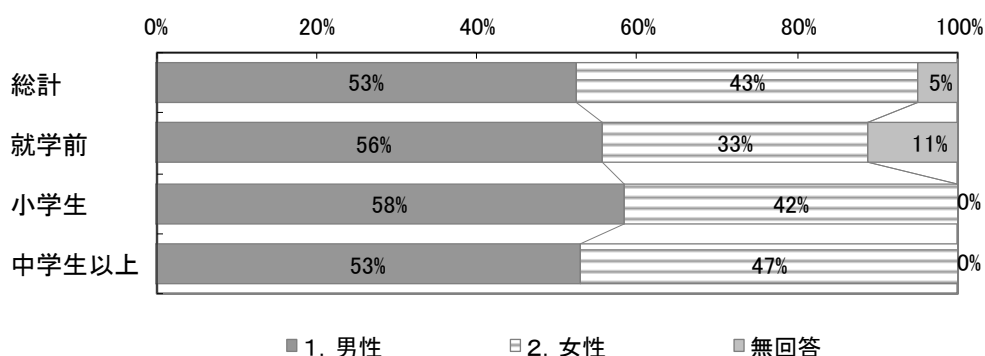


回答者は、「ご本人のご家族など」が85%、「ご本人」が3%でした。

問2 お子さんの性別・年齢をお答えください。

(1) 性別 (〇は1つ)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 男性	21	53%	5	56%	7	58%	9	53%
2. 女性	17	43%	3	33%	5	42%	8	47%
3. 答えたくない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	5%	1	11%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

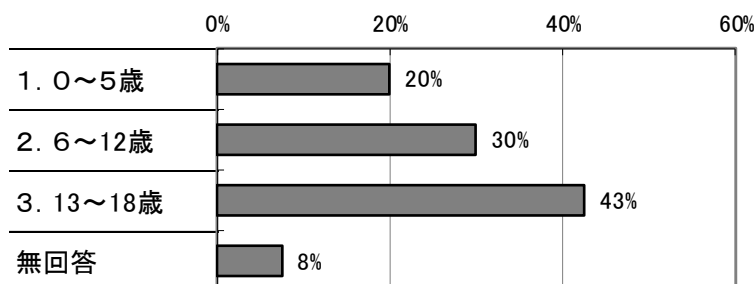


性別は、男の子がやや多い状況です。

(2) 年齢

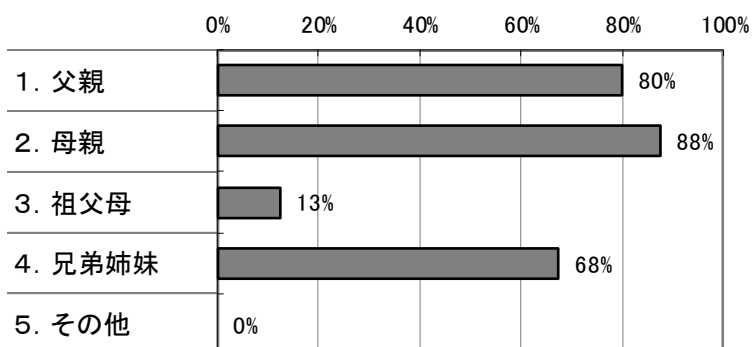
	総計	
	人数	割合
1. 0～5歳	8	20%
2. 6～12歳	12	30%
3. 13～18歳	17	43%
無回答	3	8%
合計	40	100%

子どもの年齢は、「0～5歳」が20%、「6～12歳」が30%、「13～18歳」が43%でした。



問3 一緒に暮らしている人（お子さんからみた続柄）はどなたですか。（〇はいくつでも）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 父親	32	80%	7	78%	10	83%	14	82%
2. 母親	35	88%	8	89%	10	83%	16	94%
3. 祖父母	5	13%	0	0%	1	8%	4	24%
4. 兄弟姉妹	27	68%	6	67%	7	58%	13	76%
5. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

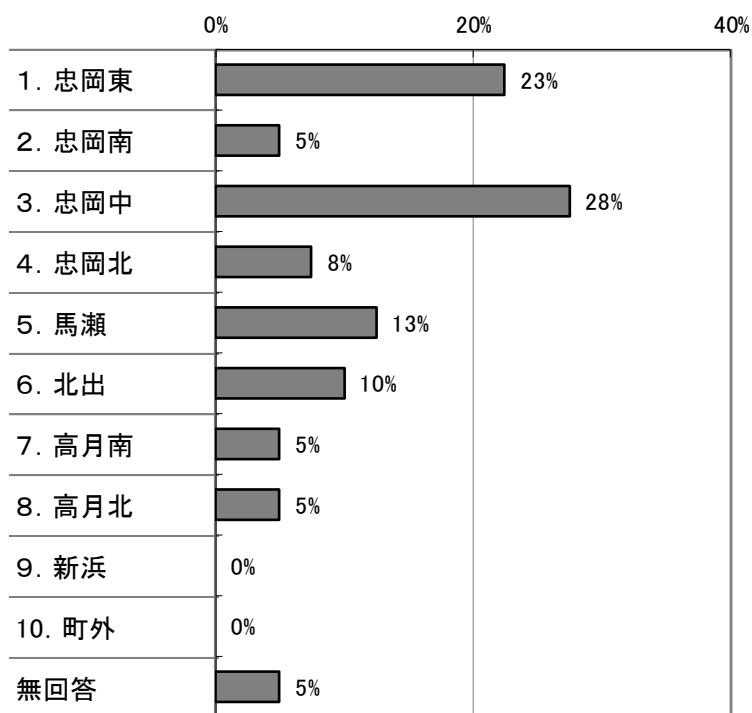


一緒に暮らしている人は、「母親」が88%、「父親」が80%など表のとおりです。

母子・父子家庭なども、一定数あることがわかります。

問4 お住まいの地域はどこですか。(○は1つ)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 忠岡東	9	23%	3	33%	3	25%	2	12%
2. 忠岡南	2	5%	0	0%	0	0%	2	12%
3. 忠岡中	11	28%	2	22%	3	25%	6	35%
4. 忠岡北	3	8%	0	0%	0	0%	3	18%
5. 馬瀬	5	13%	1	11%	3	25%	1	6%
6. 北出	4	10%	1	11%	1	8%	2	12%
7. 高月南	2	5%	1	11%	1	8%	0	0%
8. 高月北	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
9. 新浜	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. 町外	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	5%	1	11%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

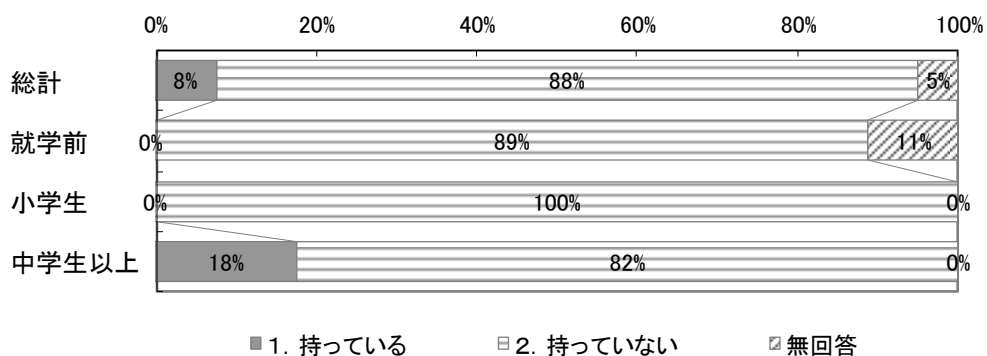


お住まいの地域は、「忠岡中」が28%、「忠岡東」が23%など、表のとおりです。

第2節 お子さんの障がい等の状況について

問5 お子さんは、身体障害者手帳をお持ちですか。(○は1つ)

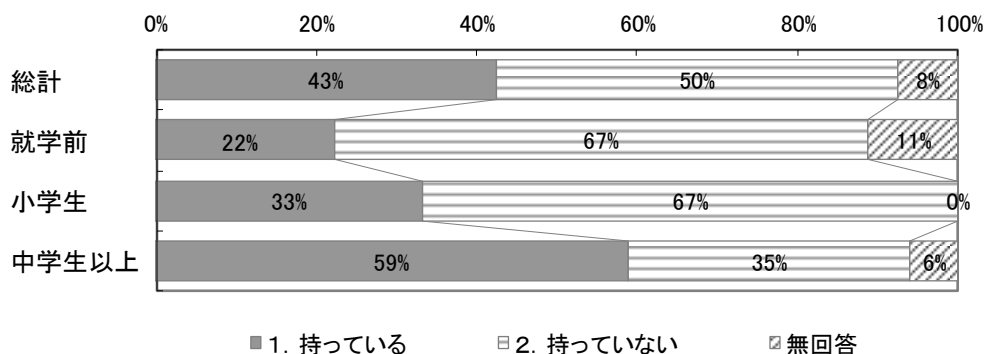
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	3	8%	0	0%	0	0%	3	18%
2. 持っていない	35	88%	8	89%	12	100%	14	82%
無回答	2	5%	1	11%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



身体障害者手帳は、「持っている」は8%（3人）です。

問6 お子さんは、療育手帳をお持ちですか。(○は1つ)

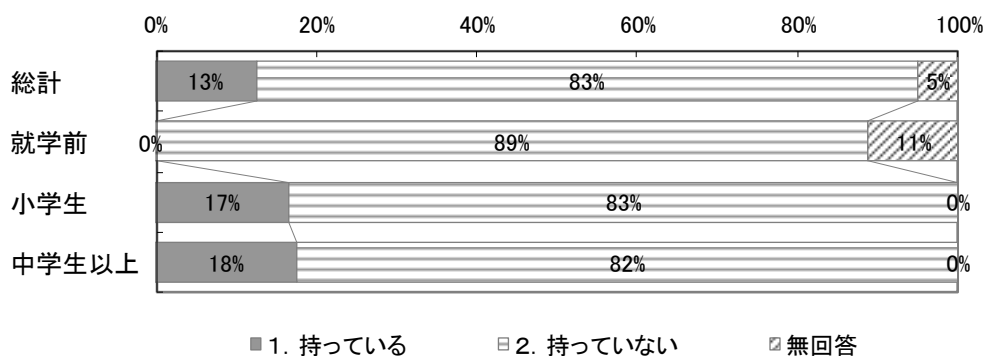
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	17	43%	2	22%	4	33%	10	59%
2. 持っていない	20	50%	6	67%	8	67%	6	35%
無回答	3	8%	1	11%	0	0%	1	6%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



療育手帳は、「持っている」は43%（17人）です。

問7 お子さんは、精神障害者保健福祉手帳をお持ちですか。(○は1つ)

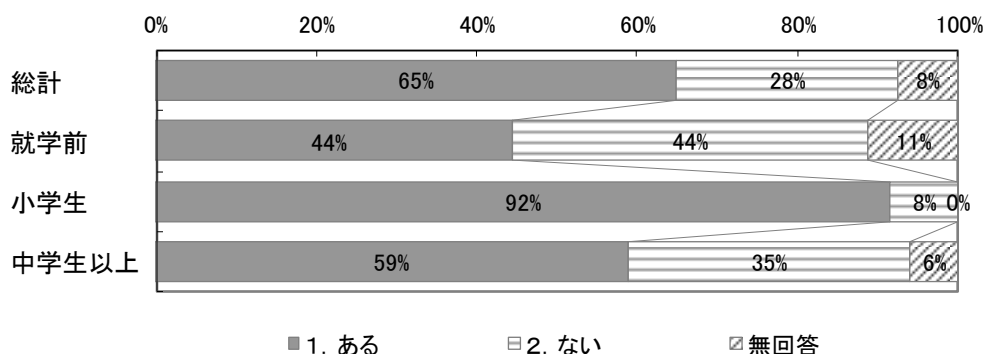
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 持っている	5	13%	0	0%	2	17%	3	18%
2. 持っていない	33	83%	8	89%	10	83%	14	82%
無回答	2	5%	1	11%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



精神障害者保健福祉手帳は、83%が「持っていない」と回答しています。

問8 お子さんは、医療機関で発達障がいと診断をされたことがありますか。(○は1つ)

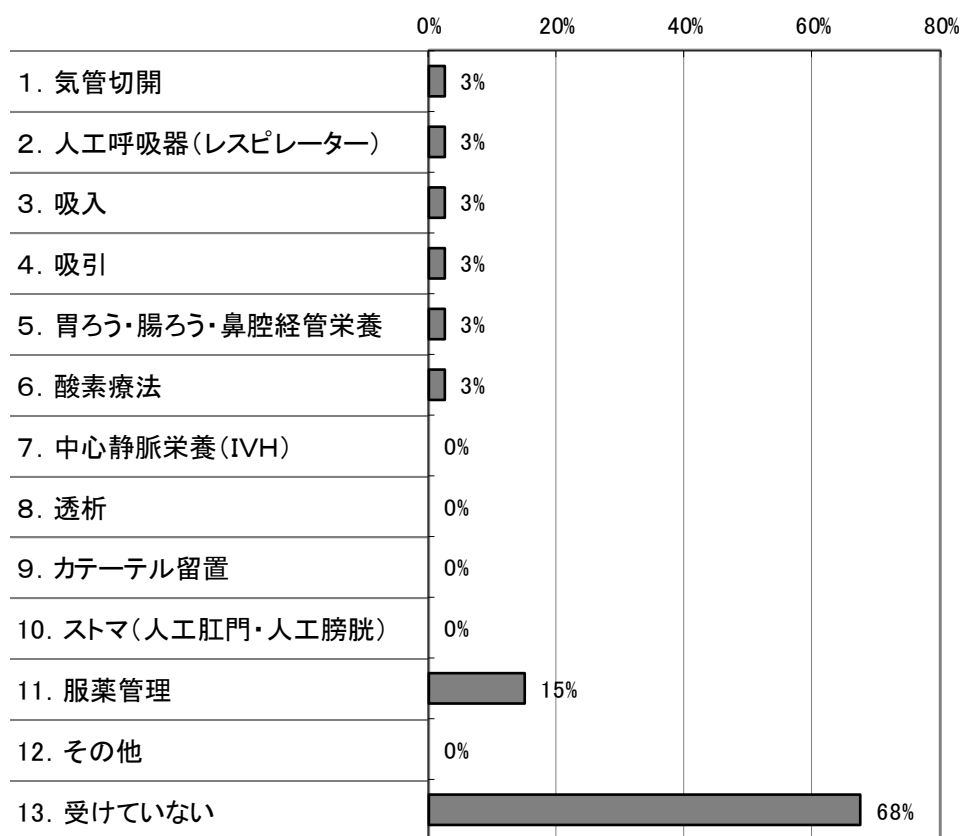
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. ある	26	65%	4	44%	11	92%	10	59%
2. ない	11	28%	4	44%	1	8%	6	35%
無回答	3	8%	1	11%	0	0%	1	6%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



医療機関で発達障がいと診断をされたことが「ある」は、65%でした。

問9 現在、お子さんは医療ケアを受けていますか。(〇はいくつでも)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 気管切開	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
2. 人工呼吸器（レスピレーター）	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
3. 吸入	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
4. 吸引	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
5. 胃ろう・腸ろう・鼻腔経管栄養	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
6. 酸素療法	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
7. 中心静脈栄養（IVH）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8. 透析	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
9. カテーテル留置	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
10. ストマ（人工肛門・人工膀胱）	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
11. 服薬管理	6	15%	1	11%	5	42%	0	0%
12. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
13. 受けていない	27	68%	5	56%	7	58%	15	88%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



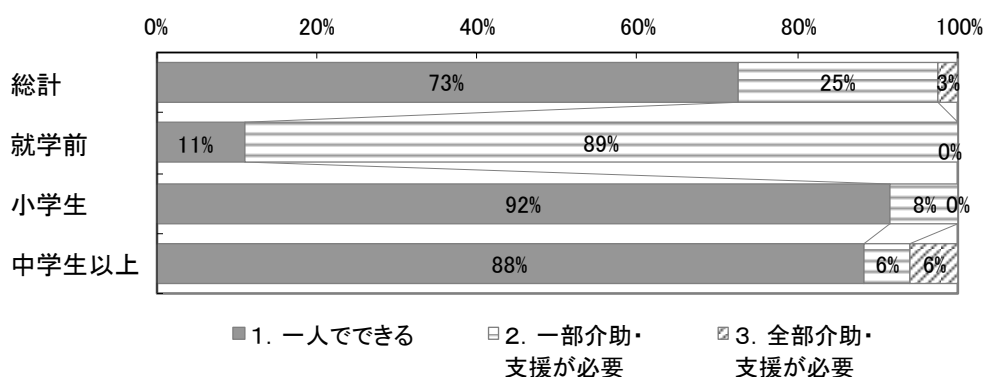
医療ケアは、「受けていない」が68%と最も多い状況ですが、ケアを受けているものでは「服薬管理」が15%あるほか、「気管切開」、「人工呼吸器（レスピレーター）」、「吸入」、「吸引」、「胃ろう・腸ろう・鼻腔経管栄養」、「酸素療法」の6項目を「受けている」と回答した重症心身障がい児の方が1人います。

第3節 お子さんの介助・支援の状況について

問10 お子さんは日常生活で、次のことをどのようにしていますか。(それぞれ○は1つ)

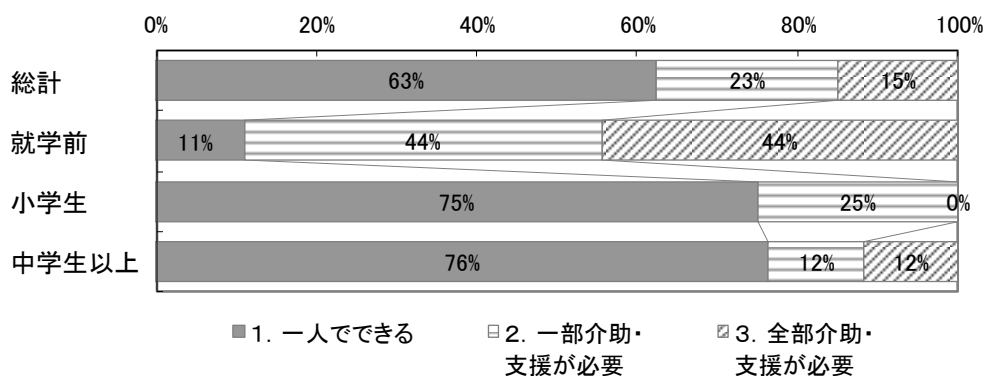
①食事

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	29	73%	1	11%	11	92%	15	88%
2. 一部介助・支援が必要	10	25%	8	89%	1	8%	1	6%
3. 全部介助・支援が必要	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



②トイレ

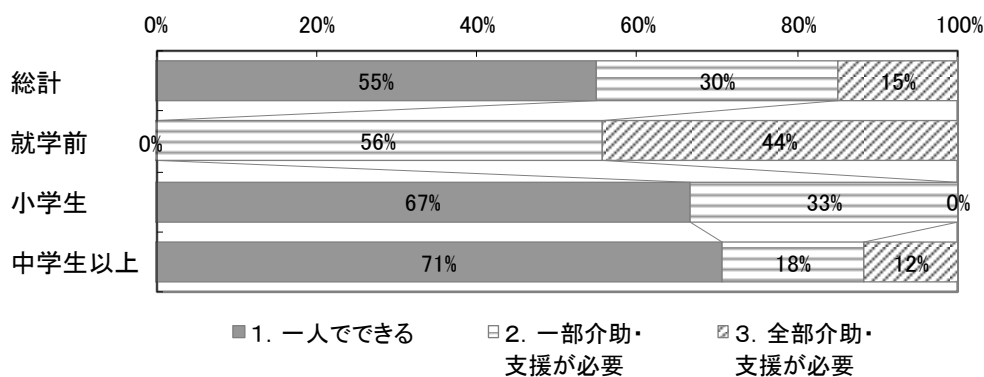
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	25	63%	1	11%	9	75%	13	76%
2. 一部介助・支援が必要	9	23%	4	44%	3	25%	2	12%
3. 全部介助・支援が必要	6	15%	4	44%	0	0%	2	12%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



食事の要介助者は、中学生で1人、小学生で1人、トイレは、中学生で4人、小学生で3人となっています。

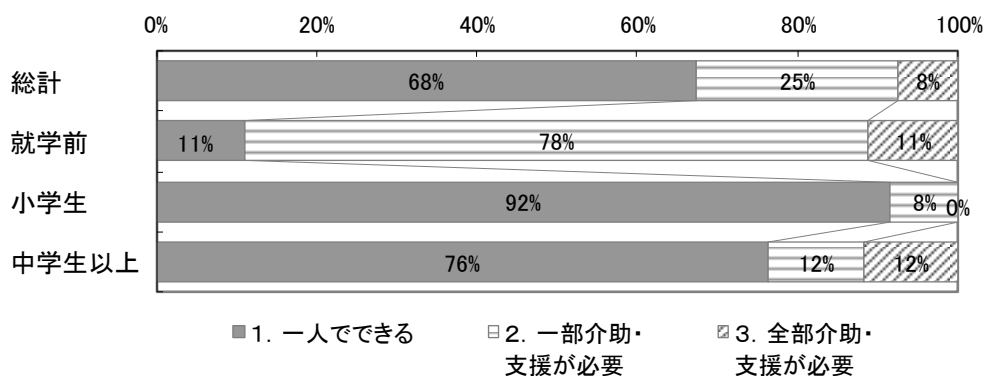
③入浴

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	22	55%	0	0%	8	67%	12	71%
2. 一部介助・支援が必要	12	30%	5	56%	4	33%	3	18%
3. 全部介助・支援が必要	6	15%	4	44%	0	0%	2	12%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



④衣服の着替え

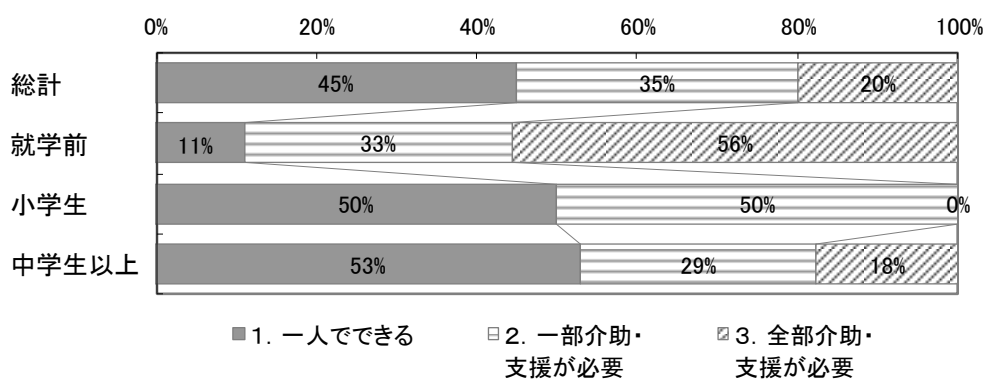
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	27	68%	1	11%	11	92%	13	76%
2. 一部介助・支援が必要	10	25%	7	78%	1	8%	2	12%
3. 全部介助・支援が必要	3	8%	1	11%	0	0%	2	12%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



入浴の要介助者は、中学生で5人、小学生で4人、衣服の着替えは、中学生で4人、小学生で1人となっています。

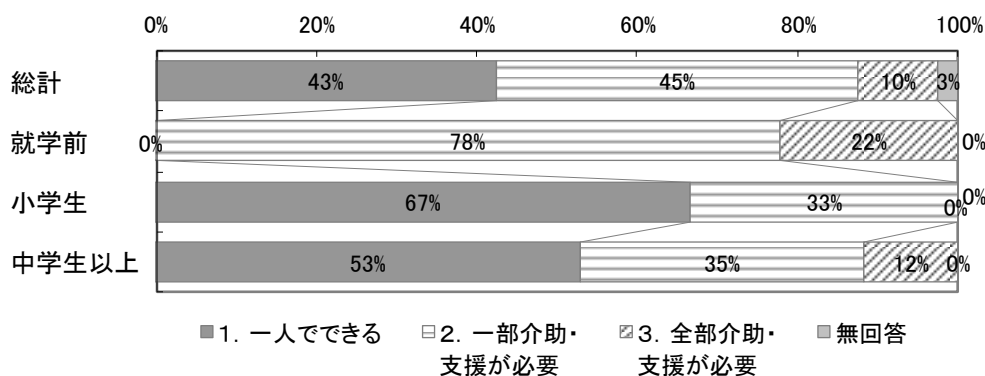
⑤外出

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	18	45%	1	11%	6	50%	9	53%
2. 一部介助・支援が必要	14	35%	3	33%	6	50%	5	29%
3. 全部介助・支援が必要	8	20%	5	56%	0	0%	3	18%
無回答	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



⑥家族以外の人との意思疎通

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 一人でできる	17	43%	0	0%	8	67%	9	53%
2. 一部介助・支援が必要	18	45%	7	78%	4	33%	6	35%
3. 全部介助・支援が必要	4	10%	2	22%	0	0%	2	12%
無回答	1	3%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

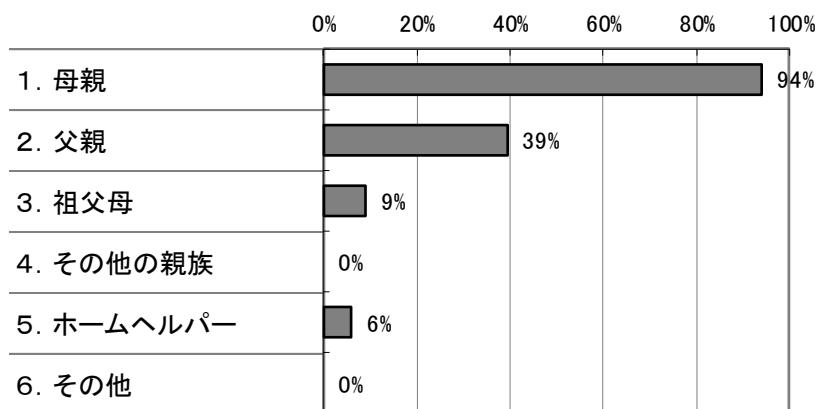


外出の要介助者は、中学生で8人、小学生で6人、家族以外の人との意思疎通は、中学生で8人、小学生で4人となっています。

【問 10 で「2 一部介助が必要」又は「3 全部介助が必要」とお答えの方】

問 10－1 お子さんの主な介助者は誰ですか。（○はいくつでも）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 母親	31	94%	9	100%	7	78%	14	100%
2. 父親	13	39%	7	78%	3	33%	3	21%
3. 祖父母	3	9%	2	22%	0	0%	1	7%
4. その他の親族	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. ホームヘルパー	2	6%	0	0%	2	22%	0	0%
6. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	33	100%	9	100%	9	100%	14	100%

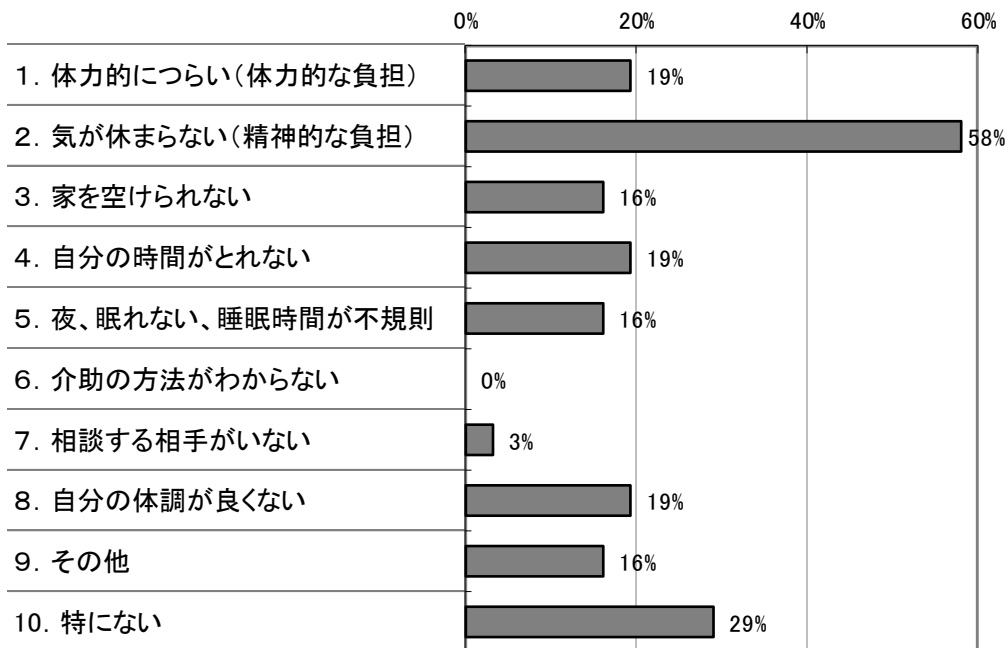


主な介助者は「母親」が94%、「父親」が39%などとなっています。

【問 10－1 でご家族が介助されている（「1」～「4」）とお答えの方】

問 10－2 介助をするうえで、困っていることはありますか。（〇はいくつでも）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 体力的につらい（体力的な負担）	6	19%	1	13%	2	22%	3	23%
2. 気が休まらない（精神的な負担）	18	58%	4	50%	5	56%	8	62%
3. 家を空けられない	5	16%	1	13%	1	11%	3	23%
4. 自分の時間がとれない	6	19%	1	13%	1	11%	4	31%
5. 夜、眠れない、睡眠時間が不規則	5	16%	0	0%	3	33%	2	15%
6. 介助の方法がわからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
7. 相談する相手がいない	1	3%	1	13%	0	0%	0	0%
8. 自分の体調が良くない	6	19%	1	13%	2	22%	3	23%
9. その他	5	16%	3	38%	1	11%	1	8%
10. 特にない	9	29%	3	38%	2	22%	4	31%
合計	31	100%	8	100%	9	100%	13	100%

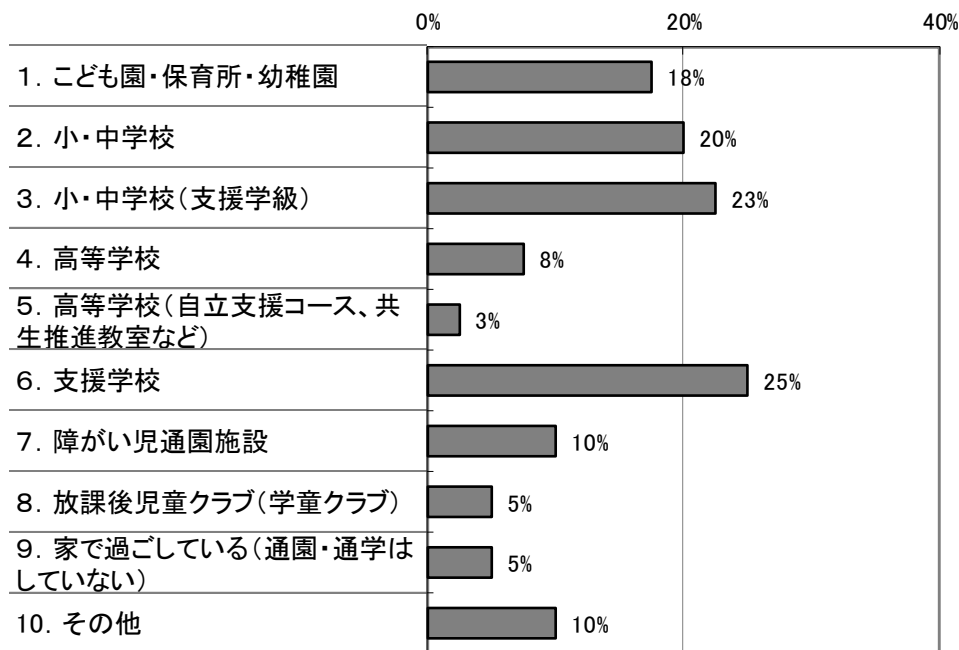


介助をするうえで困っていることは、「気が休まらない（精神的な負担）」が 58%と最も多く、次いで「体力的につらい（体力的な負担）」と「自分の時間がとれない」と「自分の体調が良くない」がそれぞれ 19%で続いています。

第4節 お子さんの日常生活の状況について

問13 お子さんは、平日の日中をどこで過ごしていますか。（〇はいくつでも）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. こども園・保育所・幼稚園	7	18%	7	78%	0	0%	0	0%
2. 小・中学校	8	20%	0	0%	4	33%	3	18%
3. 小・中学校（支援学級）	9	23%	0	0%	6	50%	2	12%
4. 高等学校	3	8%	0	0%	0	0%	3	18%
5. 高等学校（自立支援コース、共生推進教室など）	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
6. 支援学校	10	25%	0	0%	3	25%	7	41%
7. 障がい児通園施設	4	10%	3	33%	1	8%	0	0%
8. 放課後児童クラブ（学童クラブ）	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
9. 家で過ごしている（通園・通学はしていない）	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
10. その他	4	10%	2	22%	0	0%	2	12%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



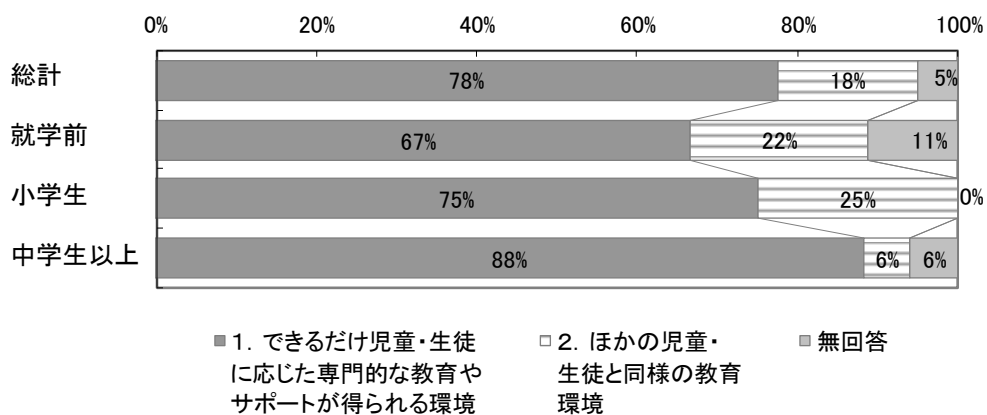
通学場所は、「小学生」では「普通学級」が4人、「支援学級」が6人、「支援学校」が3人、「中学生以上」では、「中学校・高等学校の普通学級」が6人、「中学校・高等学校の支援学級・支援コースなど」が3人、「支援学校」が7人などとなっています。

「就学前児童」は、「こども園・保育所・幼稚園」が9人中7人で、「その他」が2人あり、入院中などと推測されます。また、「障がい児通園施設」にも3人が通園している状況です。

【問13で「1」～「9」とお答えの方】

問13-1 就園・就学環境として望ましいと思うものは、次のどれですか。（○は1つ）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. できるだけ児童・生徒に応じた専門的な教育やサポートが得られる環境	31	78%	6	67%	9	75%	15	88%
2. ほかの児童・生徒と同様の教育環境	7	18%	2	22%	3	25%	1	6%
3. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
無回答	2	5%	1	11%	0	0%	1	6%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

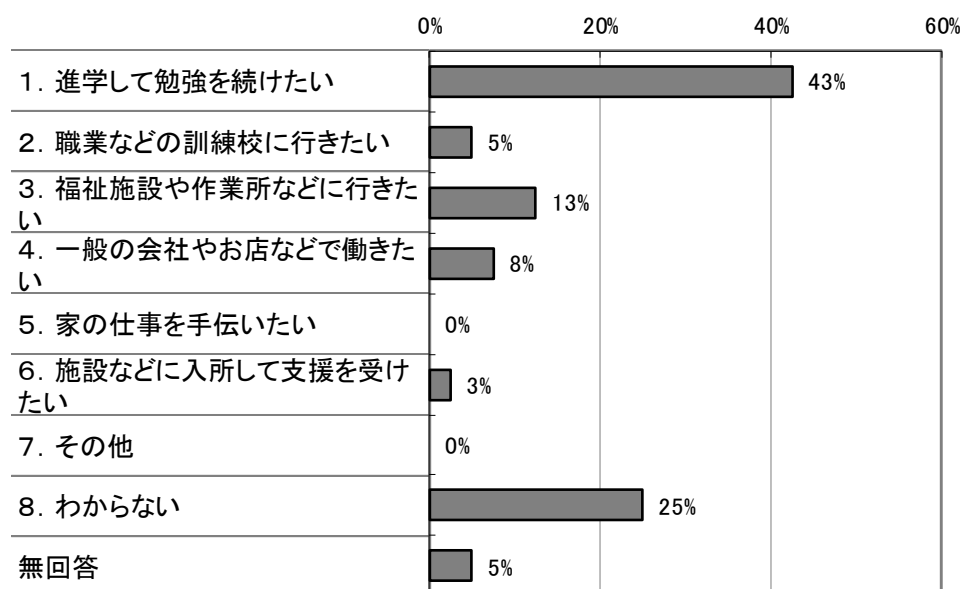


就園・就学環境としては、「できるだけ児童・生徒に応じた専門的な教育やサポートが得られる環境」を望む割合が78%と最も高く、中学生以上では88%にのびります。

【問13で「1」～「9」とお答えの方】

問13-2 中学・高校などの卒業後の進路や生活はどのようにお考えですか。(○は1つ)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 進学して勉強を続けたい	17	43%	2	22%	5	42%	8	47%
2. 職業などの訓練校に行きたい	2	5%	0	0%	0	0%	2	12%
3. 福祉施設や作業所などに行きたい	5	13%	0	0%	3	25%	2	12%
4. 一般の会社やお店などで働きたい	3	8%	0	0%	1	8%	2	12%
5. 家の仕事を手伝いたい	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
6. 施設などに入所して支援を受けたい	1	3%	0	0%	0	0%	1	6%
7. その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
8. わからない	10	25%	6	67%	2	17%	2	12%
無回答	2	5%	1	11%	1	8%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



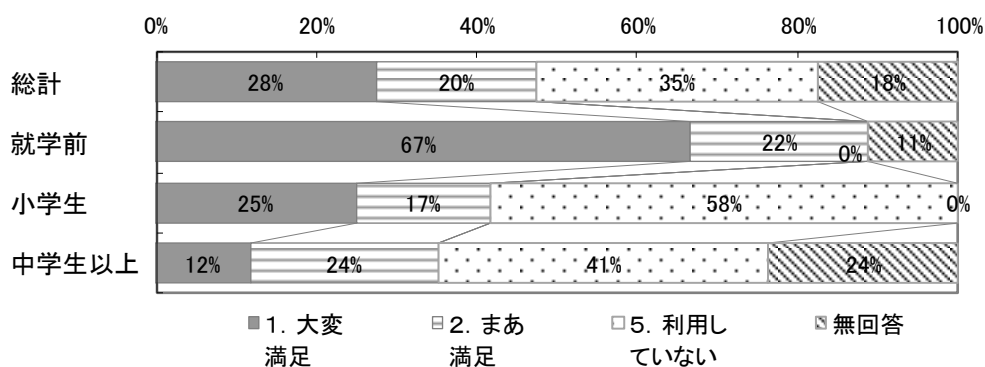
中学・高校などの卒業後の進路や生活については、「進学して勉強を続けたい」が43%、「福祉施設や作業所などに行きたい」が13%などとなっています。

第5節 福祉サービスや情報・相談について

問14 お子さんは、次のサービスを利用したことがありますか。利用した際は、サービスに満足できましたか。①～③のそれぞれについて、お答えください。

①児童発達支援サービス

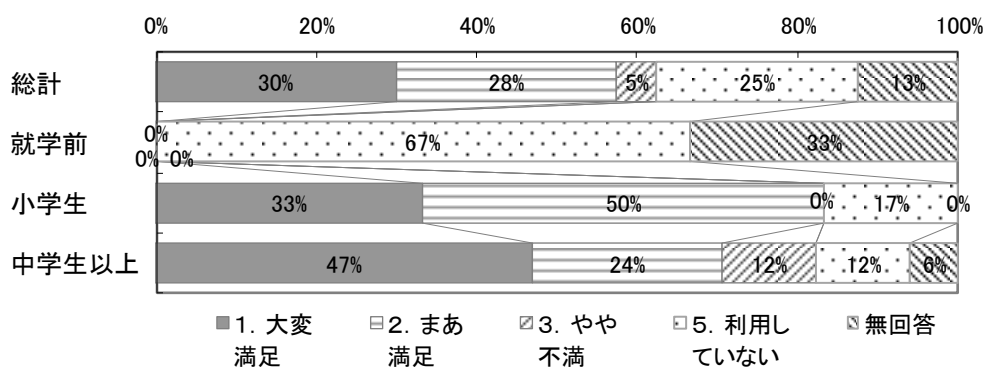
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 大変満足	11	28%	6	67%	3	25%	2	12%
2. まあ満足	8	20%	2	22%	2	17%	4	24%
3. やや不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
4. 大変不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 利用していない	14	35%	0	0%	7	58%	7	41%
無回答	7	18%	1	11%	0	0%	4	24%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



「児童発達支援サービス」は半数以上が利用しており、利用者の全員が「満足」と回答しています。

②放課後等デイサービス

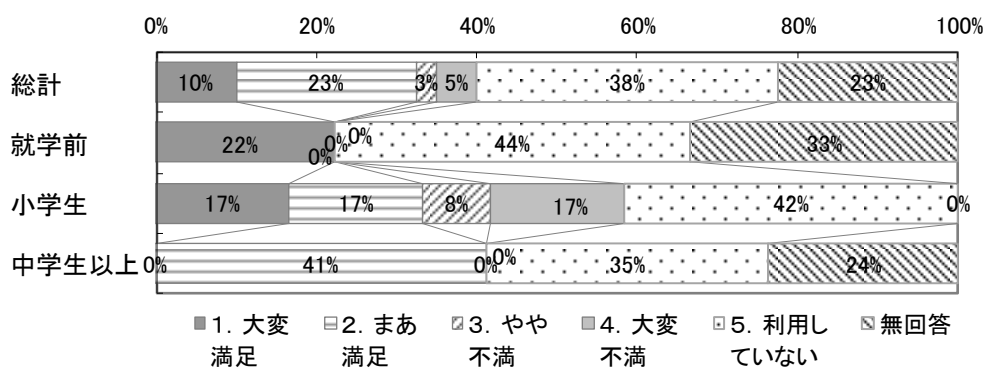
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 大変満足	12	30%	0	0%	4	33%	8	47%
2. まあ満足	11	28%	0	0%	6	50%	4	24%
3. やや不満	2	5%	0	0%	0	0%	2	12%
4. 大変不満	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
5. 利用していない	10	25%	6	67%	2	17%	2	12%
無回答	5	13%	3	33%	0	0%	1	6%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



「放課後等デイサービス」は小学校以上の8～9割が利用しており、「やや不満」の2人を覗いて、「満足」と回答してい

③障がい児相談支援

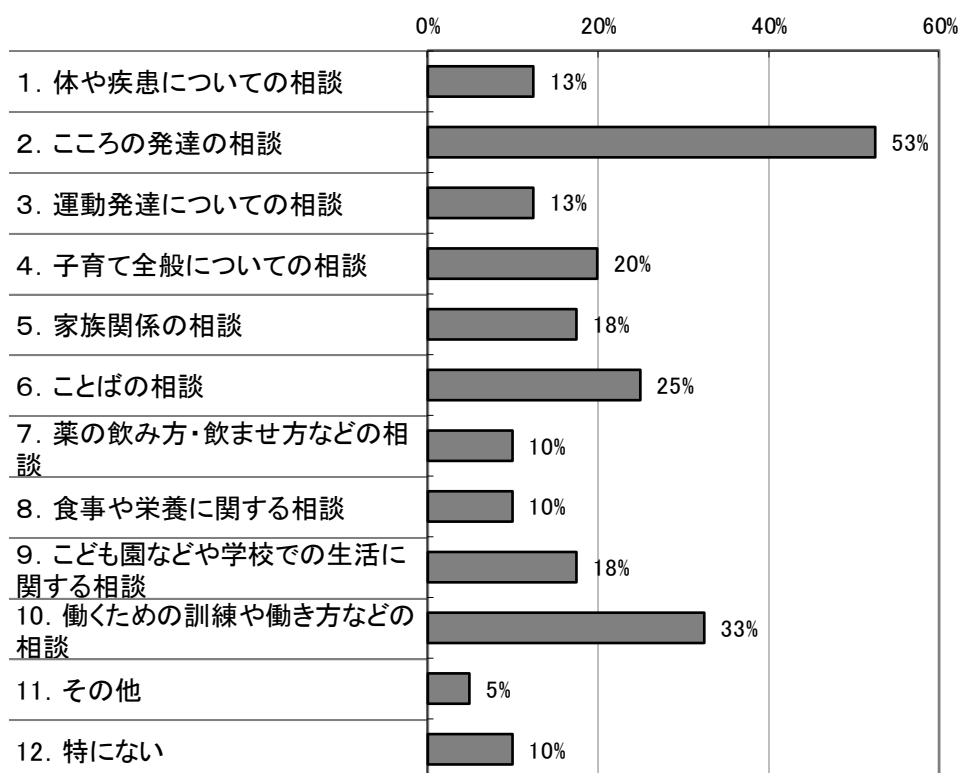
	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 大変満足	4	10%	2	22%	2	17%	0	0%
2. まあ満足	9	23%	0	0%	2	17%	7	41%
3. やや不満	1	3%	0	0%	1	8%	0	0%
4. 大変不満	2	5%	0	0%	2	17%	0	0%
5. 利用していない	15	38%	4	44%	5	42%	6	35%
無回答	9	23%	3	33%	0	0%	4	24%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



「障がい児相談支援」も多く利用がありますが、小学生の中で「大変不満」が2人、「やや不満」が1人ありました。

問 15 お子さんについて、どのようなことを相談したいですか（〇はいくつでも）

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 体や疾患についての相談	5	13%	3	33%	0	0%	2	12%
2. こころの発達の相談	21	53%	7	78%	6	50%	7	41%
3. 運動発達についての相談	5	13%	2	22%	0	0%	3	18%
4. 子育て全般についての相談	8	20%	2	22%	3	25%	3	18%
5. 家族関係の相談	7	18%	1	11%	3	25%	2	12%
6. ことばの相談	10	25%	6	67%	3	25%	1	6%
7. 薬の飲み方・飲ませ方などの相談	4	10%	0	0%	3	25%	0	0%
8. 食事や栄養に関する相談	4	10%	1	11%	2	17%	1	6%
9. こども園などや学校での生活に関する相談	7	18%	2	22%	3	25%	2	12%
10. 働くための訓練や働き方などの相談	13	33%	0	0%	4	33%	9	53%
11. その他	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
12. 特にない	4	10%	0	0%	2	17%	2	12%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%



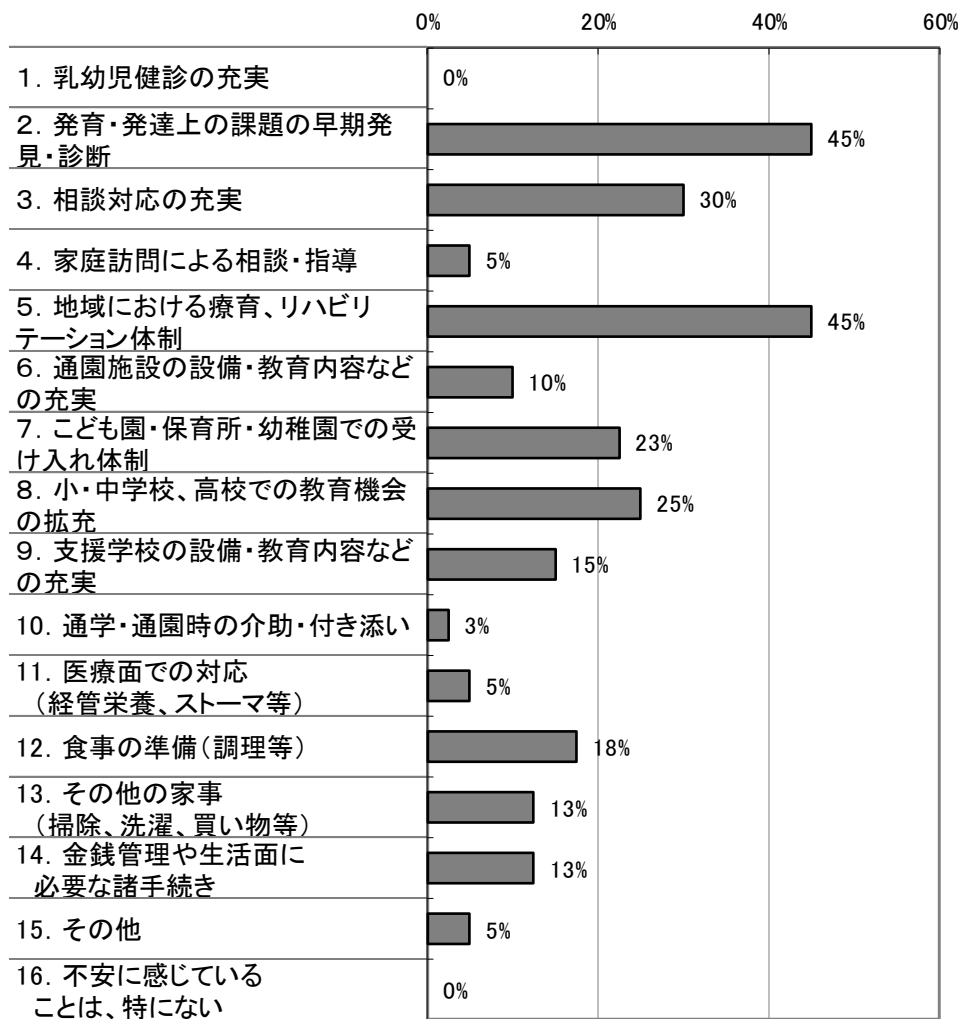
「相談をしたいこと」については、「こころの発達」が53%と最も多く、「働くための訓練や働き方など」が33%、「ことば」が25%と続いています。特に、就学前児童については「こころの発達」が78%（9人中7人）、「ことば」が67%（同6人）となっており、これらのことで、保護者が悩んでいる状況がみてとれます。

第6節 地域での暮らしについて

問16 発達に不安を持つ子どもが暮らしやすくなるために、特に重要と思うことは何ですか。(〇は3つまで)

	総計		就学前		小学生		中学生以上	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
1. 乳幼児健診の充実	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
2. 発育・発達上の課題の早期発見・診断	18	45%	4	44%	7	58%	7	41%
3. 相談対応の充実	12	30%	3	33%	3	25%	6	35%
4. 家庭訪問による相談・指導	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
5. 地域における療育、リハビリテーション体制	18	45%	4	44%	5	42%	9	53%
6. 通園施設の設備・教育内容などの充実	4	10%	2	22%	1	8%	1	6%
7. こども園・保育所・幼稚園での受け入れ体制	9	23%	4	44%	0	0%	5	29%
8. 小・中学校、高校での教育機会の拡充	10	25%	1	11%	3	25%	5	29%
9. 支援学校の設備・教育内容などの充実	6	15%	2	22%	2	17%	2	12%
10. 通学・通園時の介助・付き添い	1	3%	0	0%	1	8%	0	0%
11. 放課後児童クラブ（学童クラブ）や休日などの居場所づくり	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
12. 安心して遊べる機会や場の確保	7	18%	2	22%	5	42%	0	0%
13. 地域社会と関わる機会や環境づくり	5	13%	1	11%	0	0%	4	24%
14. 保護者が介助・支援できないときの一時的な見守りや介助	5	13%	0	0%	1	8%	4	24%
15. その他	2	5%	0	0%	1	8%	1	6%
16. わからない	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
合計	40	100%	9	100%	12	100%	17	100%

「発達に不安を持つ子どもが暮らしやすくなるために特に重要と思うこと」は、「発育・発達上の課題の早期発見・診断」と「地域における療育、リハビリテーション体制」がそれぞれ45%で最も多く、「相談対応の充実」、「小・中学校、高校での教育機会の拡充」、「こども園・保育所・幼稚園での受け入れ体制」についても、約2～3割の回答がみられます。



第3編 自由意見

自由意見は、以下のとおりです。

<障がい者用調査>

- ◆今のところは不安がなく大丈夫です
- ◆いつもいつまでも健康でありたいと毎日を元気よく過ごしています。なんでもいいので何かサービスが欲しいです。
- ◆お金がとてもしんどい
- ◆コロナウィルスが日常に戻りつつありますが、忠岡町に生活の助けとして、毎年、7月から9月、水道料金免除(基本料金のみ)いつもの月よりは、水道を使う機会が増えるからです。(夏休み)よろしくお願いします。
- ◆子供が知的障害なので、自分に何かあると判断ができず、他の人に連絡できないのが不安。
- ◆運動ができる場所が欲しい
- ◆今のところ別に困ったことはないが、近くに子供や孫がいてくれることが今の安心が体にも感じます。
- ◆障害、医療、保健、介護などで、役場の窓口がまたがっていて、二度手間、三度手間になることがある。窓口を住民の本意になるように連携してほしい。
- ◆病院の先生がよく話を聞いてくれるから嬉しい。お布団が自分で入れないから困っている。
- ◆透析に行くのに交通機関が止まると困ります
- ◆以前町長さんから30,000円を貰いました。大事に使って、現在10,000円残っていると言っています。自分の小遣いと、いただいた分、少し出して友人3人でお盆、正月、今宮エビス、1ヵ月に1回、長崎屋へ、食事に行って、楽しい生活をしています。お願いがあります。みんなに少しずついいです。お小遣いをやっていただけますか。8月の忠岡便りをなるべく早く、この子にいただけるのか、ないのか、みんな待っていると思います。大阪であるお医者さん、大学の先生から一番良い町、忠岡に行きなさいと勧めてくれました。役場の方も親切で、時々家の様子を見に来てくれたり、病院へ一緒に連れて行ってくれていました。今は様子が変わってしまっ残念です。子供は町長さんに会ったら声をかけてくれたと帰ってきます。いろいろ書きましたが、私が死んだ後よろしくお願いします。ありがとう。
- ◆スーパーのおかず入れ、プラスチックの入れ物、シールにのりがべっとり、プラスチックの日にゴミを出す時、シールを剥がして出すのに困っている。のりをつけないように行政でできないものか。
- ◆福祉や介護の支援を今よりさらに充実してほしい。母子家庭や子供の支援ばかり優遇されている。もっとその他の困っている人たちに目を向けて支援をしてあげて欲しい。具体的には給付金の充実など。母子家庭(1人親)ばかり給付金を支給して、その他の困っている人は無視ですか？
- ◆人とは会話ができないので、外出、買い物など、全て家族の助けが必要。大人数が無理なので、

避難等ができない(車中での生活になる)

◆迷惑にならないようにしたいです

◆役所には相談しにくい。福祉の専門職の人がいない。私の方が知識がある。

◆視覚障害ですが、それに対する支援は何があるのか？全く分かりかねます。市町村により違います。おかしいです。忠岡町は、全く何もないと思います。他から教えてもらい、地域福祉課に行っても忠岡町ではと言われます。今後はよろしくお願いします。

◆あまりにもありすぎて答えきれない

◆障害者年金が欲しい

◆本当に困っている方にサービスの範囲を広げてもいいと思います。調査員で介護度がかなり左右されることがあるので、審査の際は1人ではなく数人で行い、一人ひとりの意見をまとめて、答えを出してほしいと思います。1人で絶対歩行が困難である人がどんなに区分変更をかけても、介護1だったり支援であつたりと、もしくは本人に芝居をさせてしまうケアマネがいて、明らかに全て自立されており、生活が1人でされているのに、介護4の判定には、役所の方は不思議と思わないのでしょうか？ 私たちは「死ぬまで」介護保険を払って行くのですから！

◆なにごと、ゆっくり

◆福祉課の方々には本当にお世話になっております。〇〇様には本当に優しくして頂きました。御礼申し上げます。このようなことを書いて申し訳ないですが、他の課の方々は、割とツンとしているように思われます。障害者としてのひがみかもしれませんが、主人が用事である課に行った時、とてもお叱りを受けるような口ぶりで、私はそばにいて感じました。歳のせいで耳も少し聞こえにくいので、仕方ないと主人と2人でしょんぼりと帰ってきました。〇〇様、それと福祉課の皆様、これからもお世話になります。よろしくお願いいたします。〇〇様により、もうおわかれだと思えますので。

◆このアンケートはあまり意味がありません。福祉の全てが対象者ではなく、一部のようで間に答えることができません。

◆視覚障害のため、役場からの郵便物の字を大きくしてほしい。

◆何か家で出来る仕事があればと思います

◆福祉バスの運転手がとても不親切です。運転しているだけで、お年寄りが困っていても無視しています。足や腕の悪い年寄り同士が、バスの上り下りを協力している姿を見て唖然としました。私はその時骨折していて、手伝うことができない状態でしたが、運転手の態度に驚き、痛い体でお年寄りを手伝いました。これが日常化しています。年寄りや不自由な人にもっと手を差し伸べてもいいと思います。もしくは、一切手伝うなと指導しているのですか？それならバス乗車時にアナウンスか張り紙でもして下さい。

◆忠岡町役場に電話で、福祉について、手続き等の質問をしても回答が不親切。毎年同じ手続きをしないといけませんが、対応が不親切すぎて嫌になる。

◆来て欲しい人や来てくれる人が近くで誰もいない

◆グレーゾーンだからこそ見た目ではわからないので社会的に難しい。

◆高石市の時は高速代が半額だったのに忠岡に引っ越したら半額にならなかった。

- ◆父、母が亡くなった後どうしたらいいかわからない。妹は面倒を見ないと言っているので困っている。
- ◆相談員が就労に対して世間の常識がなく困っています。
- ◆自分に今現在障害があるとは思っていないが、企業などで勤務するには、精神的に(双極性障害)難しい面があると思う。ボランティアでもいいが、できれば、社会参加をしたいので、仕事についての相談をしたい。
- ◆道路と駅と店の案内看板にふりがなやわかりやすいように細かく書いていないので、進む方向や場所がわからないことが多い。理解するのが難しい言葉で話されたり、文章で聞かれると何もできなくなるので、もっと噛み砕いてほしい。・聞いてくる言葉は先に言っておいてくれないとわからなくて困るので、聞いてくる紙とかが欲しい(特に病院とか)持病もあるので、病院に行った時に、病院側から渡される書類等で困ることが多いので、そういう書類をすべての病院で共通させて原本を持って見せるだけで良くしてほしい。初めて行く病院などで毎回いろんな紙を待ち時間に書かされると、時間が足りないか、親を連れて行かないといけなくなるから揃えて欲しい。高校の時に足にヒビが入って、2回目のMRIの検査時に前も書いたと言ったのに、また紙を書かされてわからなかったので、携帯で調べながら書いていますと「もういいです」と言われて嫌だった。この前も書いたと言ったのに書かされて困ったからです。
- ◆おむつを利用しているが、費用が思ったよりもかさむ。補助制度があったら助かる。もしそのような制度があったら知らないのですみません。障害者にどのような補助制度があるかわからない。一目で分かるガイドブックのようなものがあれば助かる。わかりやすい。
- ◆精神の手帳に関するサービスが増えること
- ◆近くに買い物をする店の閉店が続いています。配達もありますが、やはり品定めして買い物をしたいです。今は家族が自転車でスーパーへ行っていますが、だんだん高齢になり、それも難しくなると思います。歩いてはいけません。それは現在の高齢者だけの話ではないと思います。買い物難民が先々我々の身に降りかかってきます。何とかありませんか。
- ◆障害は、人それぞれなので、その人に合った形で支援してほしい。今は皆一緒くたにされている感じが強い。障害者との座談会など聞いてみてください。いろんな意見が聞けると思います。
- ◆病院に通院するためにはタクシーが必要なため、介護タクシーを利用できるようにしていただきたいです。
- ◆母の介護を家で妹としているが、2人とも働いていないので、将来が心配。妹はどこも悪くないのですぐ働けるが、私はパニック障害があるので心配。全然治らないので毎日辛いです。今は父の年金で何とか過ごせているが、父も高齢なので、大変です。お金の心配が一番あります。歯医者さんに行くと、すごくお金がかかるとので、なんとかしてほしいが、頑張るしかないなと思います。
- ◆急に倒れた時は土日はどこに助けてもらったらいかわからない。救急車も度々頼めないし。
- ◆7歳から我が子以上にうまく関わってきたのに、少しの心の行き違いでも他人同然になりました。心から相談に乗ってくださるようなところがあって欲しい。
- ◆生きていくのになんの心配も不安もなければいいな

- ◆2020年5月あたりに姉がなくなりました。自宅では僕1人と猫1匹+3匹で暮らしています。健康上は以前よりかなりマシですが、1人なので今後どうなっていくのか予想しにくいです。またよろしくをお願いします。
- ◆年齢を重ねるごとにできないことが増え、目が見えないことから、朝、昼、夜がわからなくなり、特に夜の排泄では付き添いで眠れないことが多いため、小規模の利用しやすいショートステイがあればいいなあと思います。一日ぐらいいはほんとゆっくりとした時間を持ちたいです。
- ◆1人では日常生活はできない
- ◆アンケートを提出して本当に実現できているのかもっと詳しく知りたい
- ◆発達障害と知ってからは、両親は私に何も求めなくなった。普通と思って周りの人に合わせて生きてきたのに、人以下なのだと無力感がある。生きているだけで何も生産しない日々がしんどくなる。自分でできることも取るに足りない事ばかりで、何のために生きているのかもわからない。自分の要望を満たそうと考えると、いつも短絡的な思考に陥ってしまう。両親を責めても何も変わらないと分かっているながら、いつも責めてしまう。生きているだけで重みでしかない自分が嫌になる。そんなことばかりで、考えないようにしようとすると、娯楽で現実逃避をしてしまう。望みが叶うなら自立したい。
- ◆移動先の車を止める優先駐車スペースが少なく、健常者がマナーを守らない。忠岡町役場でも、係員の方は確保に努力されているが、特に女性(主婦)がマナーを守らないらしい。現に困ったことがあった。徹底してほしい。何のための許可証かわからない。
- ◆私は統合失調症(2級)なのですが、妹が脳梗塞になり、身体、難病、言語、記憶の障害で、現在入院していて、週2回、和歌山の病院に今様子を見に行っていますが、生活面で、交通費がかかること、B型作業所を週一回休んで和歌山に行っているのも、身体的にも精神的にもしんどいです。作業所の仕事も疲れできつく感じます。精神の先生は慣れると言いますが、なかなか慣れません。妹には私より重い障害なので、毎日でも行ってあげたい位ですが、どうしようもありません。旦那様も介護とか家事とか不得意です。母が1日おきに和歌山に行っていますが、自分も含めて妹の将来が不安です。
- ◆もうすぐ84歳になりますが、自分の事はゆっくりながら今のところできております。主治医の先生のところは1人で歩いて行ける距離内で、また、他に3ヶ月に1度の診察医院には娘が車で連れて行ってくれます。例にもれず糖尿病で透析寸前に。栄養指導を受け、もう7~8年になります。ご指導のおかげでこの年までながらえております。パソコンが友で、ときには競馬で遊んだりの毎日です。また、ときには子供たちが2泊3日位の小旅行に、家内の好きな足立美術館や大塚美術館に連れて行ってくれます。忠岡町に住んで良かったと実感いたしております。
- ◆障害福祉サービス中心のアンケートのように思います。年齢などを参考に身障手帳を持っている人全員に送られても良いように思いました。ちなみに母は、現在身障手帳を心臓の弁の手術後でいただいています。年齢も86歳です。介護保険も要介護4です。答えようがありません。
- ◆問29③一人暮らしなので、子供も1人しかいないので、世話ができません。私が動ける間はいいけれど先が心配です。早めに役場などに相談したほうがいいですね。

- ◆障害者、障害児にかかわらず、お年寄り、子育てされている方への支援で、ボランティア活動
をと思う中で、話を聞いてもらいたいと言う思いです。
- ◆離れて暮らしており、日頃の様子が伺えないので不自由です
- ◆本人長期入院中
- ◆テレビ鑑賞時に字幕が読めない。新聞の字が読めないので、吹き替えができる道具があれば楽
しみも増える。
- ◆急なことに迅速な対応をしてくれる機関が少ない。街灯が少なく夜道が気味悪い。物騒。町民
グラウンドの周りのフェンスの雑草は何のためにほったらかしにしておくのかわからない。風
通しが悪く、マダニの増殖が心配。グラウンドで何をしているのか見えない。日頃外出ができ
ないので家で過ごすことが多く、このところの猛暑で電気代が心配。
- ◆利用していたケアマネージャーが全然頼りにならない。誰に相談して良いかすごく不安になっ
た。
- ◆今現在、A型就労支援で利用者として行っております。A型のほとんどに言えることですが、そ
の上の就労できるような、社会に出られるようなバックアップをしてほしい。ほとんど自分自
身で動いていかないと就職が困難であると思う。もちろん自分でしっかり目標を持って社会に
出られるようにやっていかなければならないとも思っています。
- ◆街の公園の整備、ごみ収集、ゴミ箱設置
- ◆介護認定等申請後の結果が遅いので、本当に困っている人々に寄り添った体制が必要。各種サ
ービスの提案、またはお知らせをこちらから聞いて答える場合が多く、積極的な提案があまり
ない。利用者(住民)が知らないことが多い。特に役場窓口対応時にしっかり話し、提案するべ
きである。
- ◆福祉バスの増便を希望。
- ◆グループホームのみんなと楽しく暮らしているが、ある1人の利用者に押されたり凄く怖い顔
してにらみつけられるのが困る。その1人は他の人たちには楽しそうに話しかけるが、私が話
しかけたらそっぽ向いて無視したり、怖い顔してにらみつけられる。その人以外はみんないい
人。
- ◆問26でも返答しましたが、相談先に福祉の専門の方がいないか、少なすぎる。もっと知識を持
って欲しい。何度も行かないといけない。自分で調べないといけない状況だと思う。1度で自
分の相談にあった、希望に合った支援方法を明確に回答してほしい。
- ◆精神障害者にもう少し手厚い援助やサービスがもう少しあっても良いかと思えますし、ぜひ叶
えてもらいたいです。よろしくお願いいたします。
- ◆私も病気になって初めて人工肛門(ストマ)になりました。障害者トイレ(オストメイトトイレ)
が増えたらいいなと思います。見たところ元気な人と変わらないので、障害者トイレに入り
にくいところもあります。温泉施設でも利用することができるみたいですけどまだ行く勇気がな
いです。
- ◆歩いて外出ができない、お金が少なく不安
- ◆外出時、歩道がガタガタで自転車で移動の際に危険を感じる。

- ◆今はまだ運転免許があるので、日常の買い物、病院の受診など、困る事はあまりないけれど、いずれ免許証を返納した時に病院の受診は毎月必要なので、支援していただければありがたいと思う。
- ◆自立の支援体制 コロナ後、体力が落ちた。
- ◆他の市や町に比べてサービスが少ないと思う。(独居の方へのサービス、生涯教育など、この町で生活することが楽しく思われること。相談支援体制が整っていないなど) ホームページが見にくく、使いづらい。

＜子ども用調査＞

- ◆忠岡町は、近隣の市の様子を伺ってから、何でも進める傾向があるので、もう少し独自のやり方や、判断をしていかなければ、障害福祉はまだまだ進まないと思います。アンケートをとっても、検討、計画段階で終わってしまうと思うので、(ここ何年見てもさほど変わっていないので)本気で取り組んでいただきたいです。
- ◆現在2歳9ヶ月ですが、会話ができない。発声をするが、ワードではないため、意思疎通が難しい。意思疎通ができない時は泣いてしまうことが多い。
- ◆父と母で毎日お世話をしていますが、仕事を休めない時、体調が悪い時など、助けていただける方法があれば教えて欲しい。ショートステイなど見学に行きましたが、意思疎通もできず、目も離せない子供を預けられる(信用できる)ところがないです。重度の障害のため、意思疎通が難しく、介助することがほとんどです。(介助の負担がとても大きいです。)
- ◆小さい頃は保健センター、小学生になると教育委員会、そしてそのたびに1から説明をしないとけない。地域で暮らすために暮らしやすくするために、障害がある方のカルテ的なものを作り、誰が見ても、その方の障害の具合、どんなサポートが必要か分かるものがあればとずっと思っています。
- ◆受けられるサービス、全てを案内してもらえているのかどうか。自分から調べていかないと教えてもらえていないことが過去にあったので、少し心配です。受けられるサービス集や、案内してもらえるとありがたいです。
- ◆今回のアンケート調査について。子供(本人)が家のポストから封筒を取り出した際に、自分の名前宛に届いていた封筒に記載されている「障害」という字を読んでいた。お手数ではありますが、今後は封筒に「障害」と言う文字を記載しないか、二重封筒などでご配慮していただけたら幸いです。
- ◆感覚過敏を軽減するグッズにたどり着くまで、時間もお金もかかります。金銭的にも精神的にも親の負担が大きいです。親同士交流できる場があれば、情報交換などできるのではないのでしょうか。頑張っって子を支えないと、と前向きな気持ちのときには良いのですが、将来の不安から気持ちが落ち込むことが多々あります。どこで、何を相談できるのかわからないし、何をどう相談すれば、この生活、子供の状況が良くなるのか全くわからず、未来が見えないです。子供が鬱などを発症し、手帳を取得するまで、子も、親も苦しまないといけないのでしょうか。

- ◆町立の療育園や近隣にリハビリ施設がないので困っている。(せめて、近隣の市町村の療育施設に通えるようにして欲しい)相談できる場所や療育、進学などの情報を得られる場所がない。(保健センターに療育や発達に詳しい方がいて欲しい。せめて情報収集して必要な情報を教えて欲しい)役場での情報共有がなく、その都度説明しないとイケないので、切れ目のない支援をしてほしい。こども園、学区関係なしに選べるようにしてほしい。(学区により私立と公立に分かれているので不公平感がある)ファミサポ制度があれば便利だと思う。
- ◆こども園の障害児への対応が、子供や両親に対して配慮が足りない!と思う。個別の対応が難しいのはわかるが、最初から「できない!特別扱いになる!」などの発言が、こども園の先生から発せられるとのこと。友人がとても傷ついている。発達障害に理解のない先生とのやりとりが、親を追い詰めていると思う。他人から見るとわかりづらいが、24時間365日の対応で、見た目以上に親が追い込まれていることがある。こども園の先生って人数足りていますか!?いつも忙しそうで、先生の忙しさが細かい対応、気遣いをできなくさせていないでしょうか!?
- ◆18歳になったら頼りにしていた放デも卒業になり、この先どこに居場所を見つけられればいいのか心配です。18歳になったからと放り出さないでほしい。
- ◆中学3年生になりました。各方面からいろいろな支援をいただいて、落ち着いて過ごすことができています。学習面でのしんどさのある子ですが、自分なりに頑張ってコツコツ受験勉強の毎日です。自分は勉強が苦手だから、高校を出たら就職すると言っていますが、コミュニケーションも得意な方ではないので、社会に出た後のことも少し気になるようになってきたこの頃です。作業所へ通うとか、支援学校からの就職とかではないと思いますが、(一般の高校から就職)子供を長い目で見てきた立場からすると、苦勞するだろうな、覚えが悪くて迷惑をかけるだろうな、と想像できてしまうのです。(18歳以降の)軽度の子供たちの将来について、もう少し情報等があれば嬉しいなと思います。
- ◆運動発達の遅れを伴う病気を持って生まれました。療育に通って地道に体作りをしながら、児童発達支援を利用し、こども園に通っていますが、とても活発に成長してくれています。生活上の困難はこの先もずっと続いていくかもしれませんが、身辺自立をサポートしてくださったり、身体の発達に合わせて、保護帽やインソール作成に補助があったり、多くの皆さんのおかげで元気に過ごせています。
- ◆娘の発達の相談を12年前に初めて保健センターへ相談したときは、〇〇さんという保健師?の方がいて、とても的確なアドバイスをしてくださり、他の職員の方も電話で様子を確認してくれたり、発達検査の提案や幼稚園の連絡など、間に入って来て、本当に助けていただき感謝していました。しかし6年位?前から保健センターの対応に変化があり、進路の相談や役場各所の窓口への相談など、「全て各自でしてください」となったり、「教育委員会へ言ってください」「これは校長先生の確認がいる」「三ヶ山学園に通っている児童は忠岡町役場でフォロー出来ない」など、いわばたらい回しで、部署間で連携がされておらず、各部署で一から説明を何度もする事がいつものパターンとなっています。年に一度の通所受給者証の更新の面談も担当者になるべく関わらず、長いスパンで見持っていただけたら、毎年毎年、成長過程を説明しなくて済むのに・・・と思います。この用紙に書いただけでは、言葉足らずでうまく伝わらない

部分もあると思うので、保健センターの職員の方や教育委員会の方や福祉課の方と障がいのある子供の保護者が一堂に会し、話し合いができればいいなと思います。

- ◆様々な部署の連携が全くできていない。情報の共有もされていない。継続的な情報の伝達も不十分。関連窓口の担当者でさえ、制度や障がいのこと、特性のことなどの知識が不十分と感じる態度、発言が多々あり、困っていたり、しんどかったりする。気持ちに寄り添ってもらっていると、実感できない。こういったアンケートや、議会の一般質問、窓口での要望などもかなり以前から状況を伝えてはきているが、当事者の意見が反映されて、忠岡町の取り組みが、変わってきているとは感じにくい。変わっていない気がする。当事者の意見をもっと大事にして、当事者に寄り添った制度のあり方、活用について今一度考えてもらいたいです。